

---

明石市  
在宅介護実態調査  
報告書

---

令和5年8月



## 目次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査の実施内容について.....	1
(2) 集計分析について.....	1
2. 対象者について.....	3
(1) 世帯類型.....	3
(2) 現在抱えている傷病.....	4
3. 親族による介護.....	5
(1) 介護の頻度.....	5
(2) 主な介護者の属性.....	6
(3) 介護の内容.....	8
(4) 介護離職.....	10
4. 支援・サービス.....	14
(1) 介護保険サービスの利用状況.....	14
(2) 介護保険サービス以外の支援・サービス.....	15
(3) 在宅生活に必要な支援・サービス.....	15
(4) 施設等への入所・入居の検討状況.....	16
(5) 訪問診療の利用状況.....	16
5. 調査結果と認定データを使用した個別のクロス集計結果について.....	17
◆検討テーマと集計・分析の狙い.....	17
◆調査対象者の年齢区分別・要介護度.....	18
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討.....	19
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討.....	23
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討.....	35
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討.....	39
(5) リハビリ系サービスの検討.....	44
(6) 医療ニーズの高い在宅療養者を支えるサービス等の提供体制.....	45
6. 調査結果のまとめ.....	49
(1) 在宅生活の限界点向上について.....	49
(2) 仕事と介護の両立について.....	49
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討.....	49
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討.....	49
(5) リハビリ系サービスの検討.....	50
(6) 医療ニーズの高い在宅療養者を支えるサービス等の提供体制.....	50



# 1. 調査概要

## (1) 調査の実施内容について

以下の調査を実施しました。

調査種類	在宅介護実態調査
対象者	更新申請、区分変更申請をした者（施設入所者は除く）
実施件数	812 件
実施期間	令和 4 年 10 月 3 日～令和 5 年 3 月 10 日
実施方法	認定調査員の聞き取り調査

## (2) 集計分析について

### ① サービス利用の回数・組み合わせ等に着目した集計・分析に係る用語の定義

本集計・分析では、介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」「通所系」「短期系」の3つに分類して集計しています。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれます。

それぞれ、用語の定義は以下の通りです。

#### <サービス利用の分析に用いた用語の定義>

用語		定義
未利用		・「住宅改修」「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		・（介護予防）訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		・（介護予防）通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

<サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義>

用語	定義
未利用	・上表に同じ
訪問系のみ	・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む 組み合わせ	・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）+通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）+短期系」「訪問系（もしくは定期巡回）+通所系+短期系」「小規模多機能」「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」「短期系」「通所系+短期系」の利用を集計しています。

② サービス利用のカテゴリー化に係る注意点

前述の通り、報告書では介護保険サービスを大きく「訪問系」「通所系」「短期系」の3つに分類して集計しています。

③ 施設等検討の状況に係る用語の定義

本集計では、施設等検討の状況について、「入所・入居は検討していない（検討していない）」「入所・入居を検討している（検討中）」「すでに入所・入居申し込みをしている（申請済み）」の3つに分類して集計しています。

④ 分析結果を見る際の留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りです。

1. 「n」は「number of case」の略で、比率算出の母数です。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中にMA（=いくつでも回答可）、3LA（=3つまで回答可）と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。

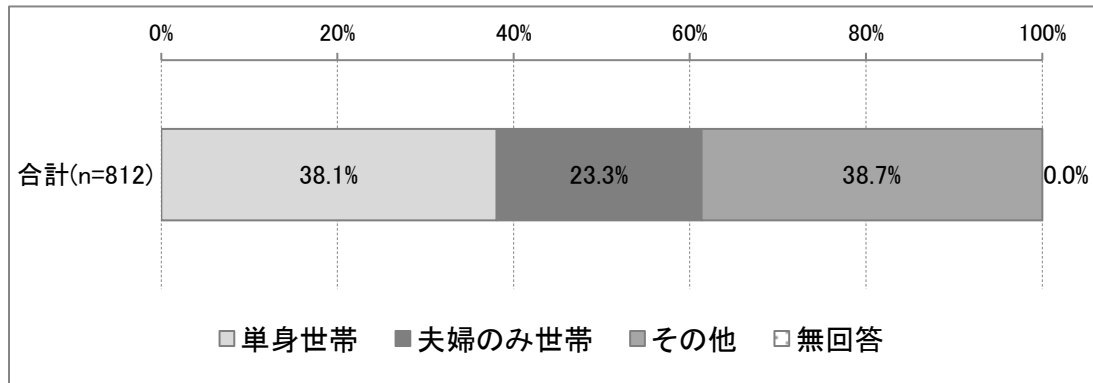
## 2. 対象者について

### (1) 世帯類型

Q 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

- ・ 「単身世帯」が38.1%、「夫婦のみ世帯」が23.3%、「その他」が38.7%となっています。

【世帯類型】

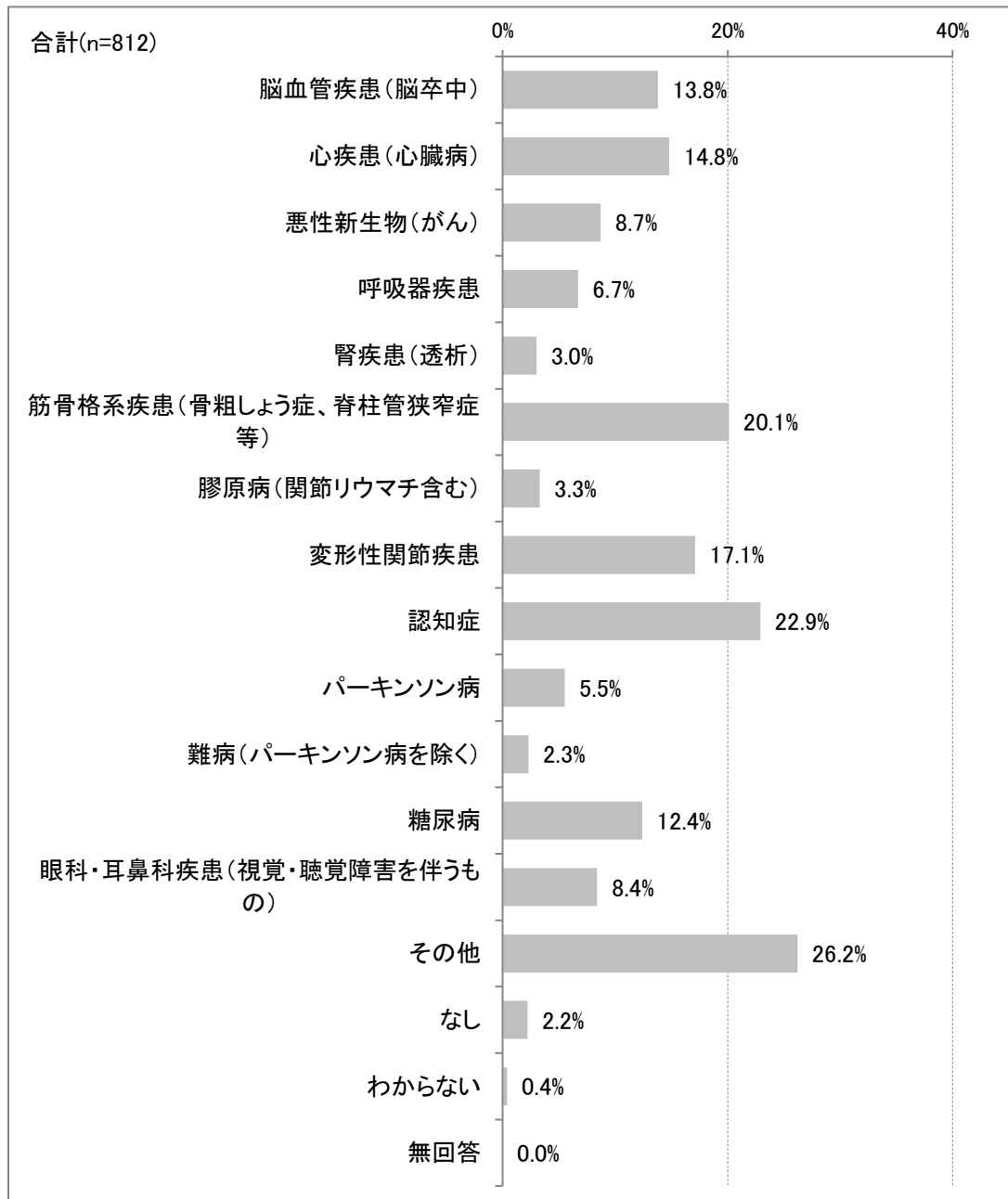


## (2) 現在抱えている傷病

Q ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（あてはまるもの全て）

- ・ 「認知症」が最も多く 22.9%、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 20.1%、「変形性関節疾患」が 17.1%などとなっています。

【現在抱えている傷病(MA)】





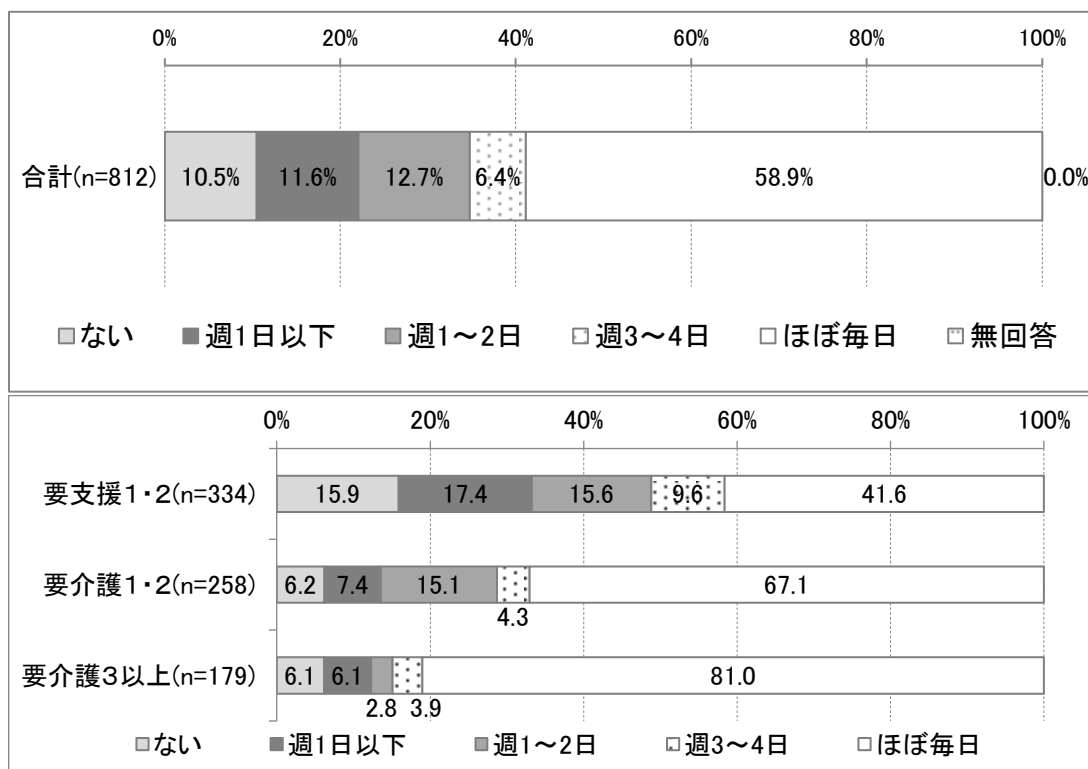
### 3. 親族による介護

#### (1) 介護の頻度

Q ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

- ・ ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ほぼ毎日」が最も多く41.6%、次いで「週1日以下」が17.4%、「ない」が15.9%などとなっています。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が最も多く67.1%、次いで「週1～2日」が15.1%、「週1日以下」が7.4%などとなっています。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が最も多く81.0%、次いで「ない」「週1日以下」がそれぞれ6.1%などとなっています。

【要介護度別・介護の頻度】



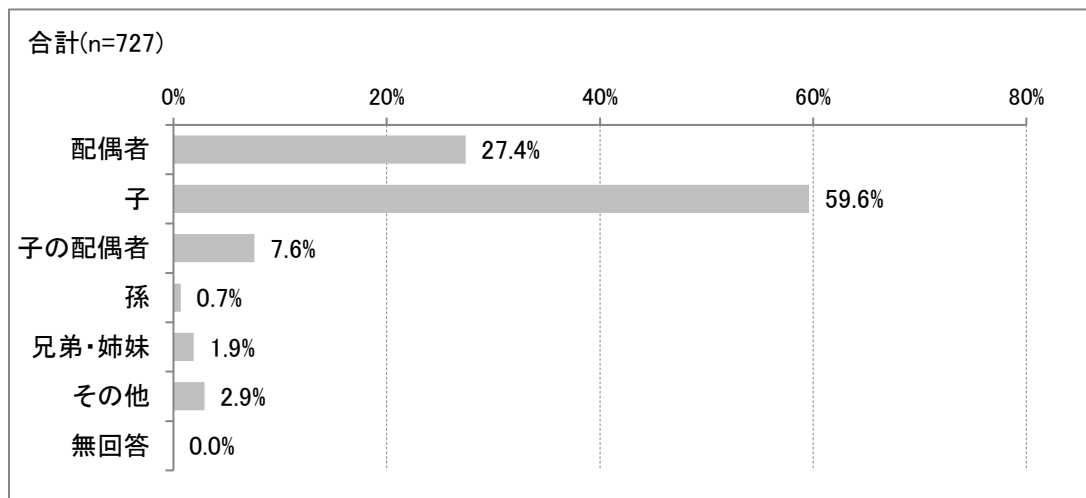
## (2) 主な介護者の属性

### ① 主な介護者

Q 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

- ・ 「子」が最も多く 59.6%、次いで「配偶者」が 27.4%、「子の配偶者」が 7.6%などとなっています。

#### 【主な介護者】

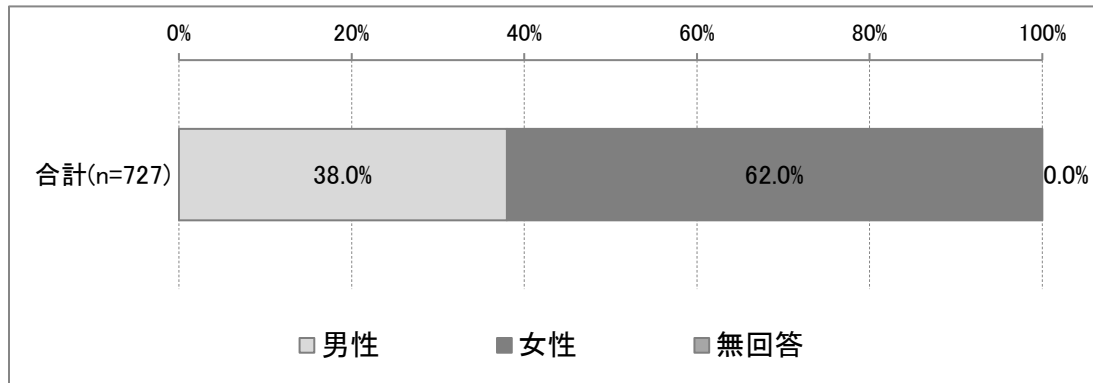


## ② 介護者の性別

Q 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

- ・ 「男性」が38.0%、「女性」が62.0%となっています。

【主な介護者の性別】

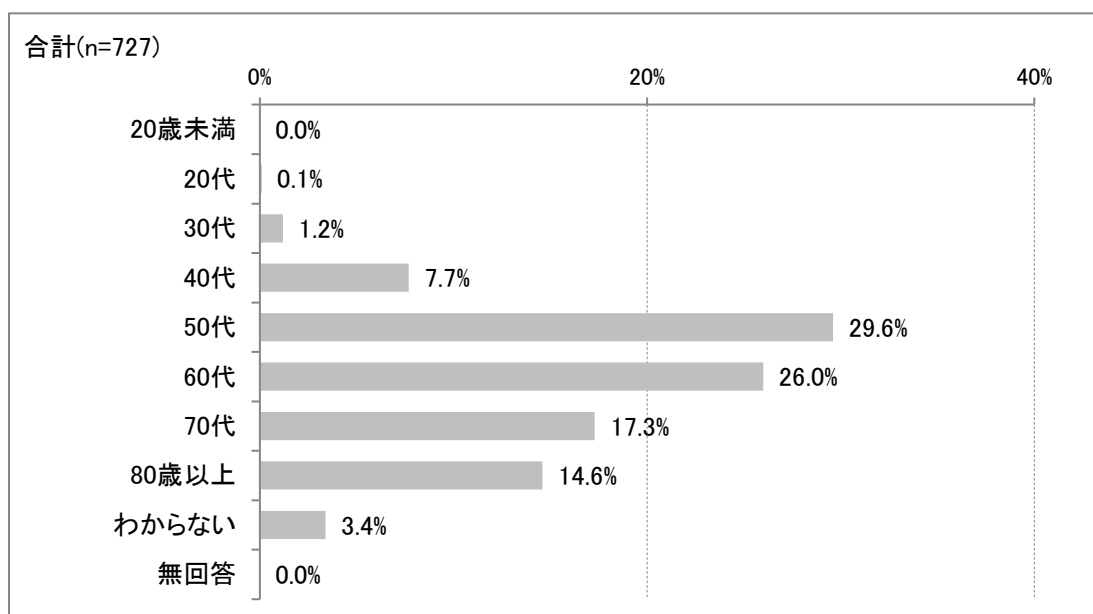


## ③ 介護者の年齢

Q 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- ・ 「50代」が最も多く29.6%、次いで「60代」が26.0%、「70代」が17.3%などとなっています。
- ・ 主な介護者のうち、70代以上となっている人の割合が約3割となっています。

【主な介護者の年齢】



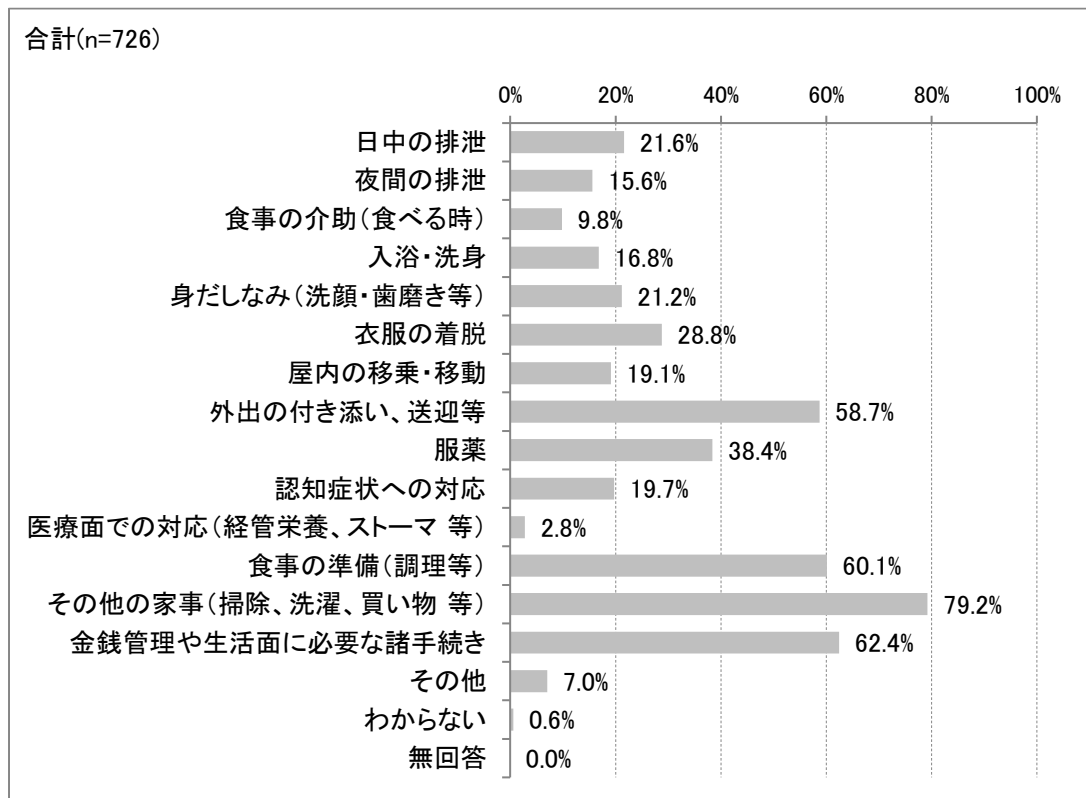
### (3) 介護の内容

#### ① 現在行っている介護

Q 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（あてはまるもの全て）

- ・ 「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が最も多く79.2%、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が62.4%、「食事の準備（調理等）」が60.1%、「外出の付き添い、送迎等」が58.7%などとなっています。

【主な介護者が行う介護(MA)】

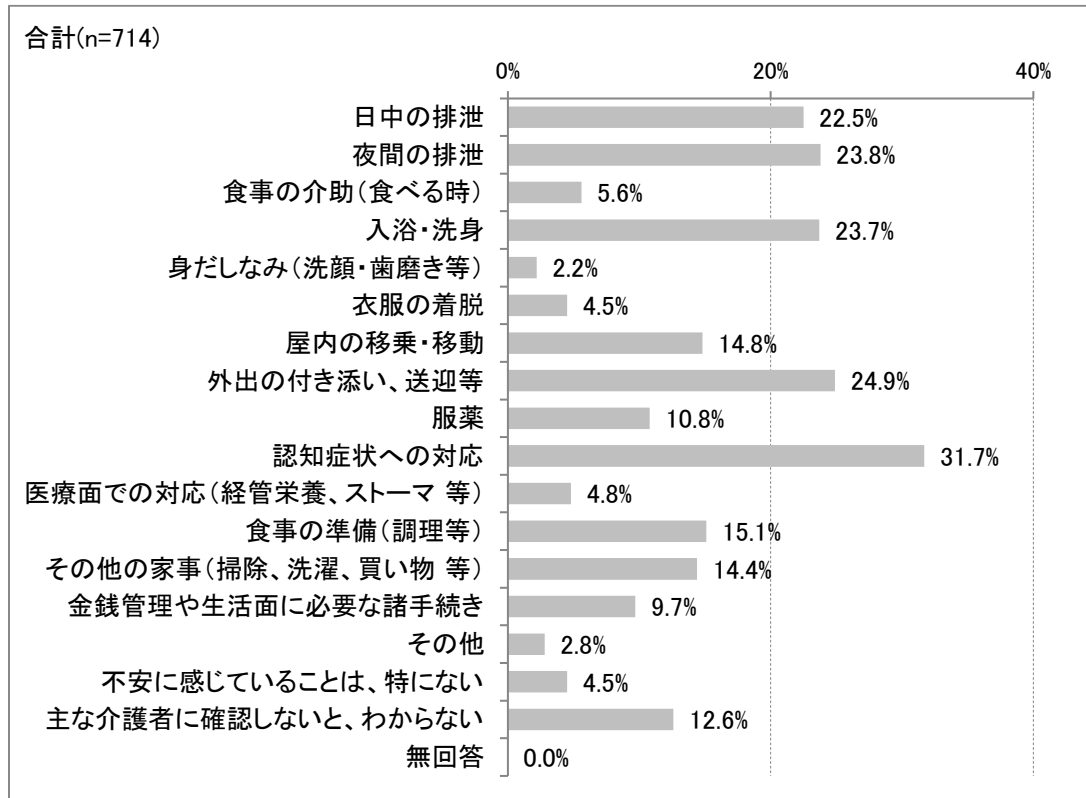


## ② 不安を感じる介護

Q 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

- ・ 「認知症状への対応」が最も多く31.7%、次いで「外出の付き添い、送迎等」が24.9%、「夜間の排泄」が23.8%、「入浴・洗身」が23.7%、「日中の排泄」が22.5%などとなっています。

【不安を感じる介護(3LA)】



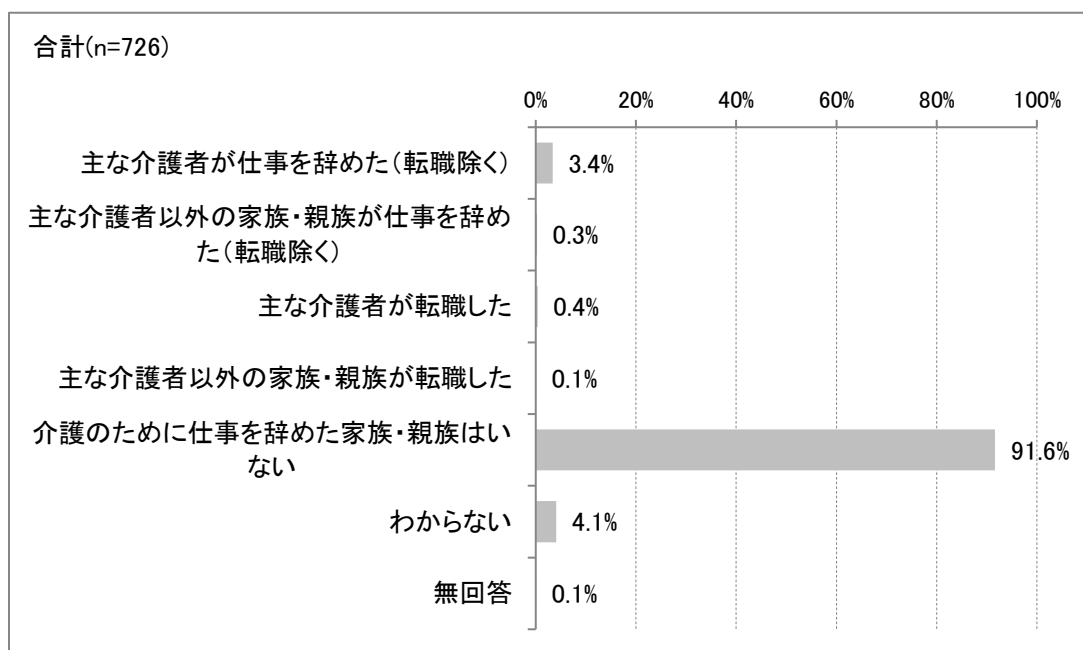
#### (4) 介護離職

##### ① 介護離職者の有無

Q ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（あてはまるもの全て）

- ・ 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も多く91.6%、次いで「わからない」が4.1%、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が3.4%などとなっています。

【介護離職(MA)】

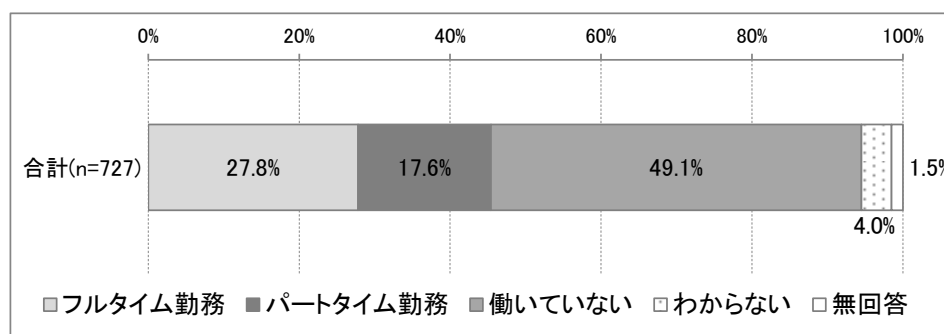


##### ② 主な介護者の勤務形態

Q 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

- ・ 「働いていない」が最も多く49.1%、次いで「フルタイム勤務」が27.8%、「パートタイム勤務」が17.6%などとなっています。

【主な介護者の勤務形態】

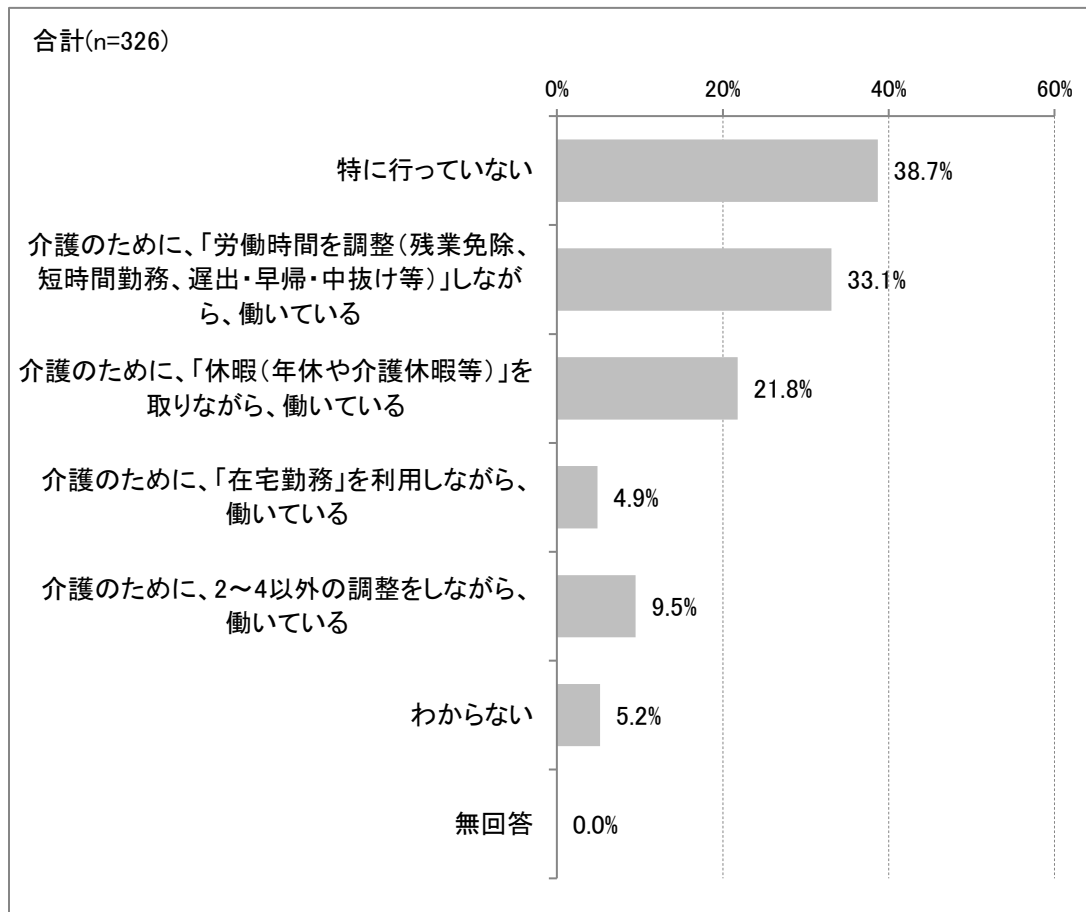


### ③ 働き方の調整

Q 「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（あてはまるもの全て）

- ・ 「特に行っていない」が最も多く 38.7%、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 33.1%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 21.8%などとなっています。

【働き方の調整(MA)】

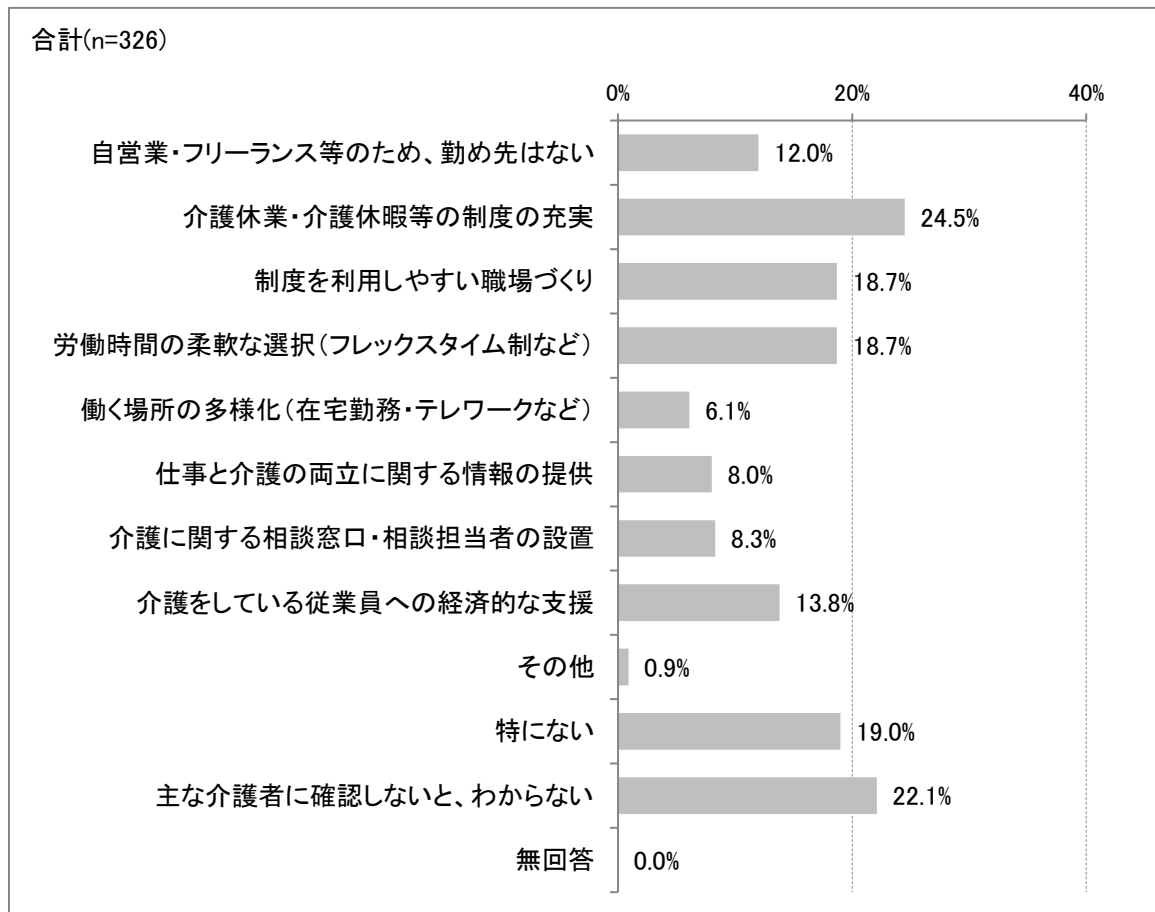


#### ④ 勤め先からの必要な支援

Q 「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- ・ 「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も多く 24.5%、次いで「主な介護者に確認しないと、わからない」が 22.1%、「特にない」が 19.0%などとなっています。

【仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援(3LA)】



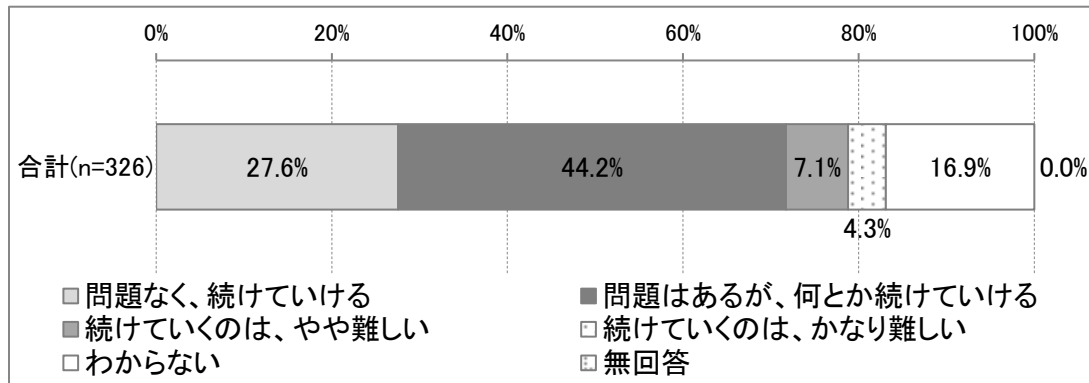


## ⑤ 今後の介護と仕事の両立

Q 「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

- ・ 「問題はあるが、何とか続けていける」が最も多く44.2%、次いで「問題なく、続けていける」が27.6%、「わからない」が16.9%などとなっています。

【今後の仕事と介護の両立】



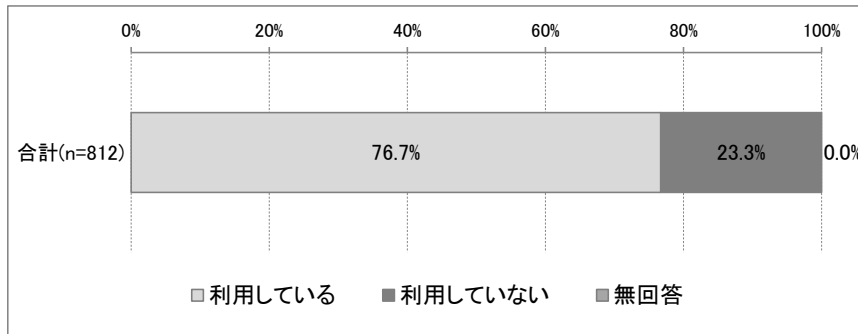
## 4. 支援・サービス

### (1) 介護保険サービスの利用状況

Q 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

- ・ 「利用している」が76.7%と、令和元年度調査の87.9%と比べて減少しています。

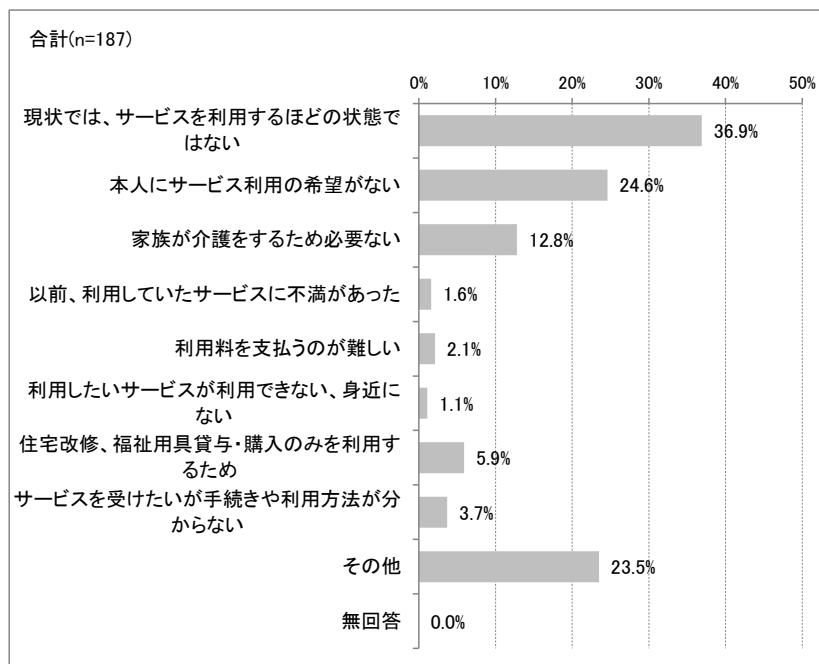
#### 【住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況】



Q 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

- ・ 「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も多く36.9%、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が24.6%、「家族が介護をするため必要ない」が12.8%などとなっています。
- ・ 令和元年度調査と比べ、「家族が介護をするため必要ない」の項目の割合が減少しています。

#### 【介護保険サービスを利用していない理由(MA)】

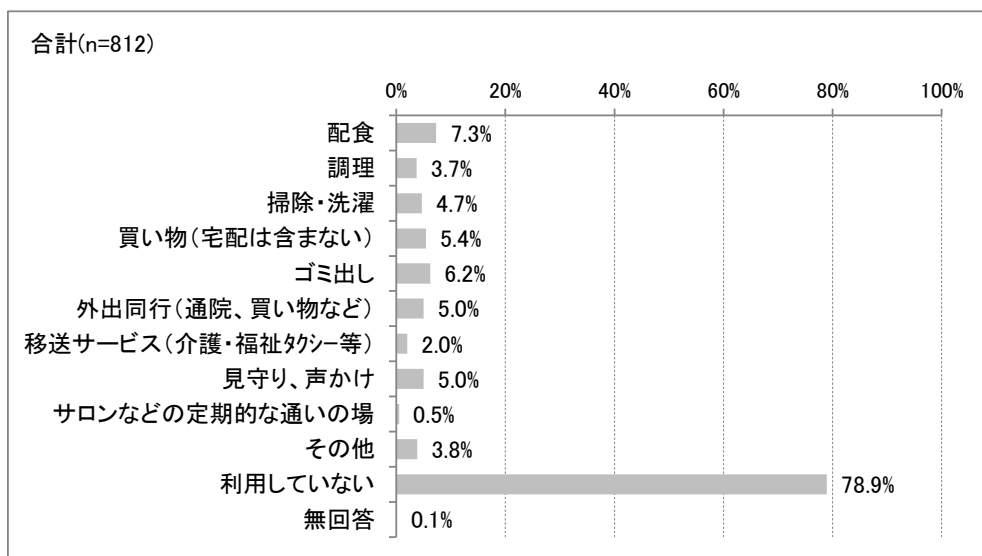


## (2) 介護保険サービス以外の支援・サービス

Q 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（全て）

- ・ 「利用していない」が最も多く78.9%、次いで「配食」が7.3%、「ゴミ出し」が6.2%などとなっています。

【利用している介護保険サービス以外の支援・サービス(MA)】

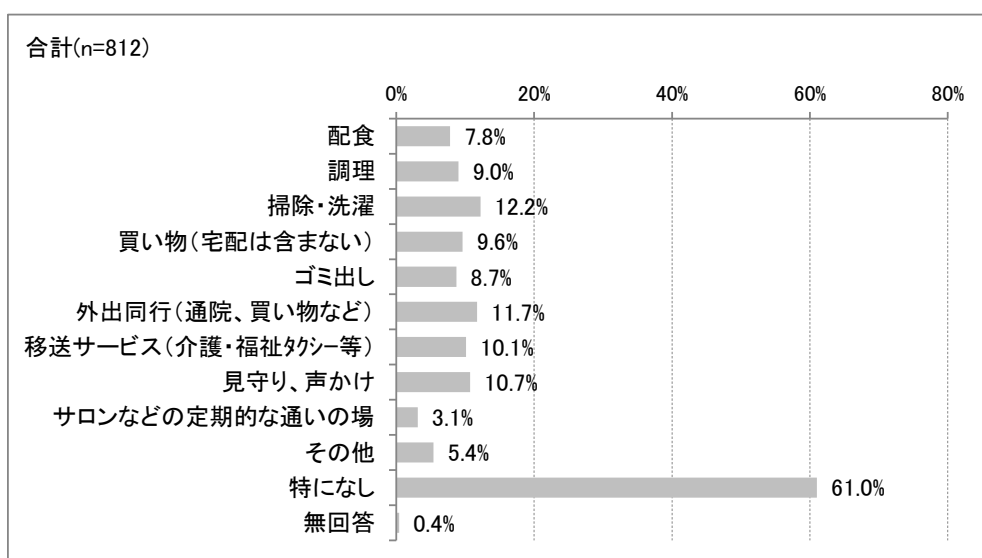


## (3) 在宅生活に必要な支援・サービス

Q 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（あてはまるもの全て）

- ・ 「特になし」が最も多く61.0%、次いで「掃除・洗濯」が12.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が11.7%などとなっています。

【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)】

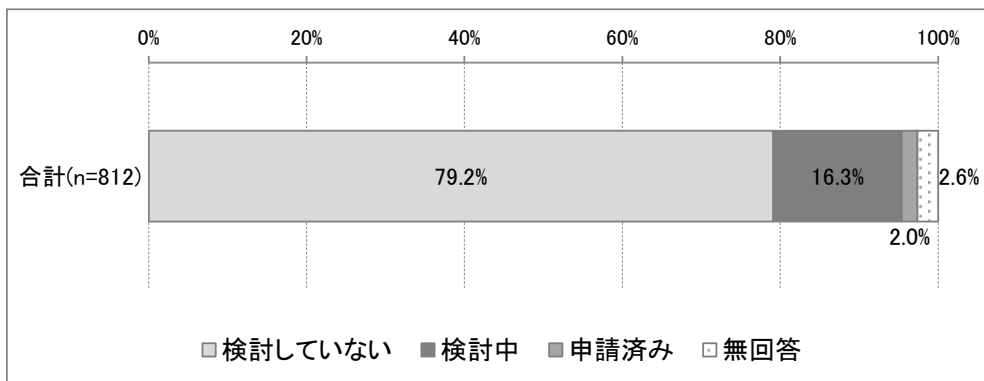


#### (4) 施設等への入所・入居の検討状況

Q 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

- ・ 「検討していない」が79.2%、「検討中」が16.3%、「申請済み」が2.0%となっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】

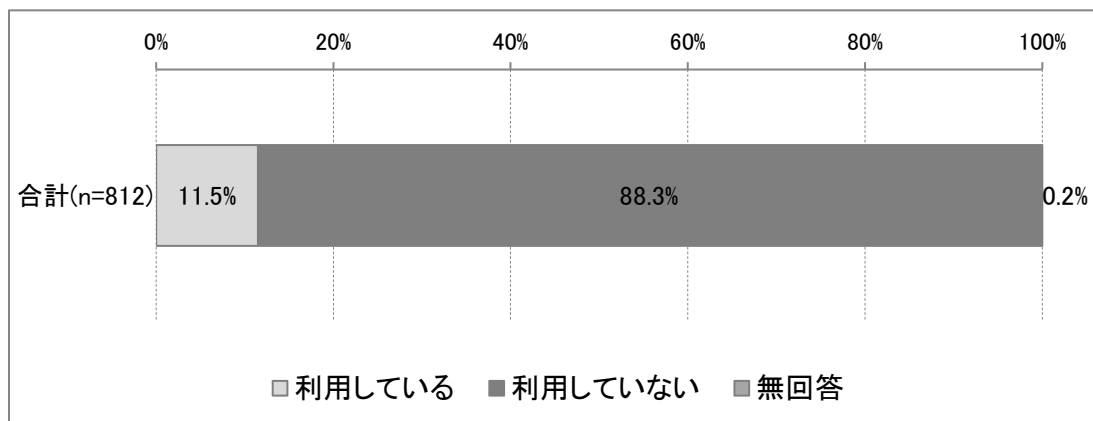


#### (5) 訪問診療の利用状況

Q ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

- ・ 「利用している」が11.5%、「利用していない」が88.3%となっています。

【訪問診療の利用状況】



## 5. 調査結果と認定データを使用した個別のクロス集計結果について

### ◆検討テーマと集計・分析の狙い

#### ● 要介護者の在宅生活の継続／介護者の就労継続

基本的な視点	検討テーマ	集計・分析の狙い
要介護者の在宅生活の継続	1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	・ 主に「施設等の検討状況」の「入所・入居は検討していない」の割合と、「介護者が不安になる介護」を指標としながら、サービス利用のパターンとの関係进行分析し、在宅限界点の向上を図るために必要となる取組について検討する。
介護者の就労継続	2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	・ 主に「介護者の就労状況」と「介護者の就労継続の可否に係る意識」を指標としながら、介護状況やサービス利用のパターンとの関係进行分析し、介護者の就労継続のために必要となる取組について検討する。

#### ● 支援・サービスの提供体制の検討

検討テーマ	集計・分析の狙い
3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	・ 主に「今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、世帯類型別・要介護度別のニーズを集計・分析し、整備が必要となる地域資源を検討する。
4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	・ 主に「世帯類型」について、世帯類型別のサービス利用のパターンを集計・分析し、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制について検討する。
5 リハビリ系サービスの検討	・ 主に「前回認定と今回認定の改善悪化状況」について、リハビリ系サービスの利用者について集計・分析し、介護予防・重度化防止に関する今後の方向性について検討する。
6 医療ニーズの高い在宅療養者を支えるサービス等の提供体制	・ 主に「訪問診療の利用」の有無、訪問診療と他のサービスとの組み合わせについて、集計・分析し、医療ニーズの高い在宅療養者のサービス等について検討する。

◆調査対象者の年齢区分別・要介護度

● 年齢区分別・要介護度（人数）

	年齢	要介護区分								合計
		認定なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
	65歳未満	0	1	4	2	2	3	0	1	13
	65～69歳	0	3	4	0	2	0	2	2	13
	70～74歳	0	14	14	6	13	3	3	4	57
	75～79歳	0	16	36	18	19	8	7	8	112
	80～84歳	0	36	53	32	27	16	17	6	187
	85～89歳	3	25	71	33	40	26	20	9	227
	90～94歳	0	13	32	22	29	14	9	5	124
	95～99歳	0	4	8	5	8	6	6	2	39
	100歳以上	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	合計	3	112	222	118	140	77	64	38	774

● 年齢区分別・要介護度（割合）

	年齢	要介護区分							
		認定なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	65歳未満	0.0	7.7	30.8	15.4	15.4	23.1	0.0	7.7
	65～69歳	0.0	23.1	30.8	0.0	15.4	0.0	15.4	15.4
	70～74歳	0.0	24.6	24.6	10.5	22.8	5.3	5.3	7.0
	75～79歳	0.0	14.3	32.1	16.1	17.0	7.1	6.3	7.1
	80～84歳	0.0	19.3	28.3	17.1	14.4	8.6	9.1	3.2
	85～89歳	1.3	11.0	31.3	14.5	17.6	11.5	8.8	4.0
	90～94歳	0.0	10.5	25.8	17.7	23.4	11.3	7.3	4.0
	95～99歳	0.0	10.3	20.5	12.8	20.5	15.4	15.4	5.1
	100歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	合計	0.4	14.5	28.7	15.2	18.1	9.9	8.3	4.9

## (1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

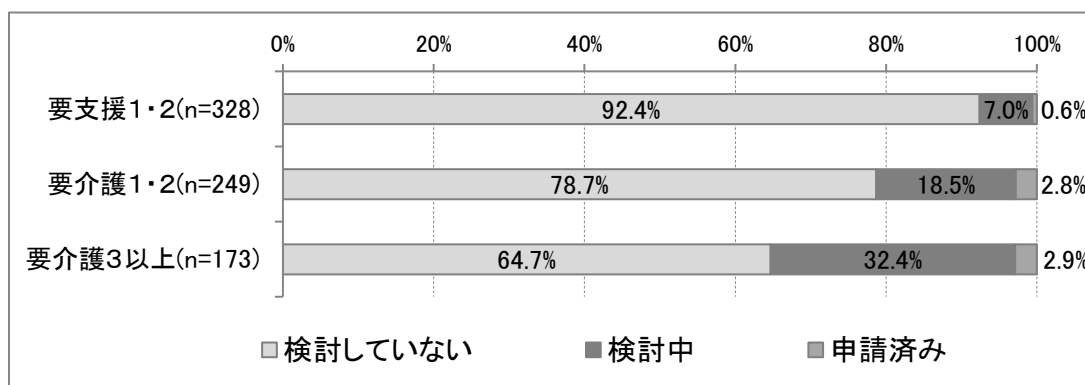
### ① 施設等への入所・入居の検討状況

Q 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

#### ● 要介護度別

- 施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が92.4%、「検討中」が7.0%、「申請済み」が0.6%となっています。「要介護1・2」では「検討していない」が78.7%、「検討中」が18.5%、「申請済み」が2.8%となっています。「要介護3以上」では「検討していない」が64.7%、次いで「検討中」が32.4%、「申請済み」が2.9%となっており、3割以上で施設での入所を検討または申請しています。

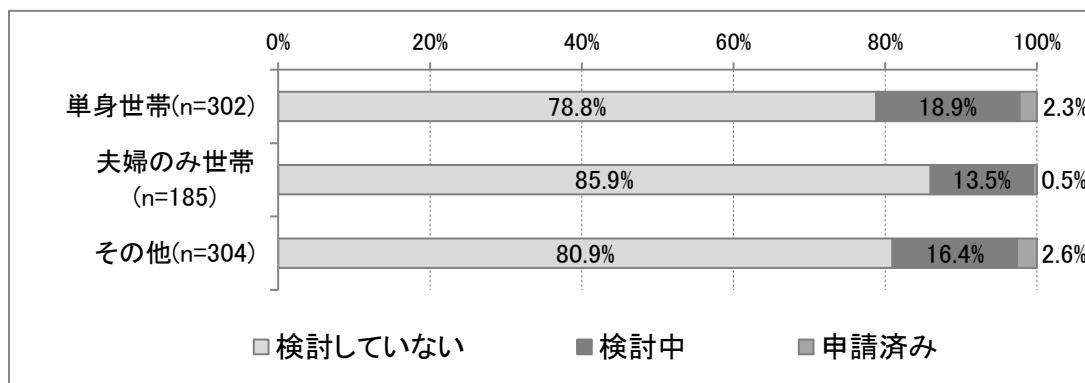
【要介護度別・施設等検討の状況】



#### ● 世帯類型別

- 施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が78.8%、「検討中」が18.9%、「申請済み」が2.3%となっています。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が85.9%、「検討中」が13.5%、「申請済み」が0.5%となっています。「その他」では「検討していない」が80.9%、「検討中」が16.4%、「申請済み」が2.6%となっています。

【世帯類型別・施設等検討の状況】



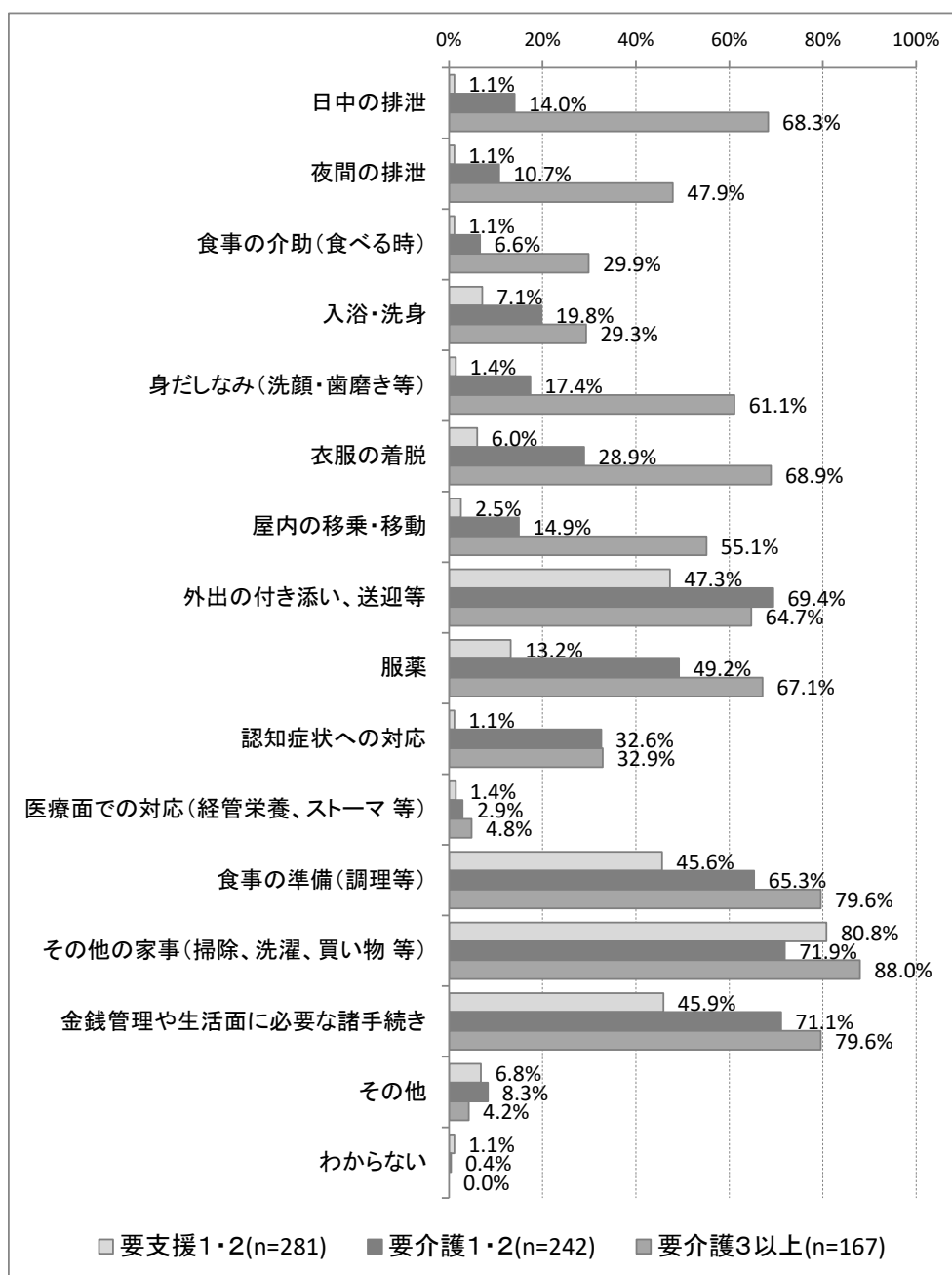
## ② 介護者が行っている介護

Q 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（あてはまるもの全て）

### ● 要介護度別

- 介護者が行っている介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も多く80.8%、次いで「外出の付き添い、送迎等」が47.3%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が45.9%となっています。「要介護1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も多く71.9%、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が71.1%、「外出の付き添い、送迎等」が69.4%となっています。「要介護3以上」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も多く88.0%、次いで「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が79.6%、「衣服の着脱」が68.9%となっています。

【要介護度別主な介護者が行う介護(MA)】





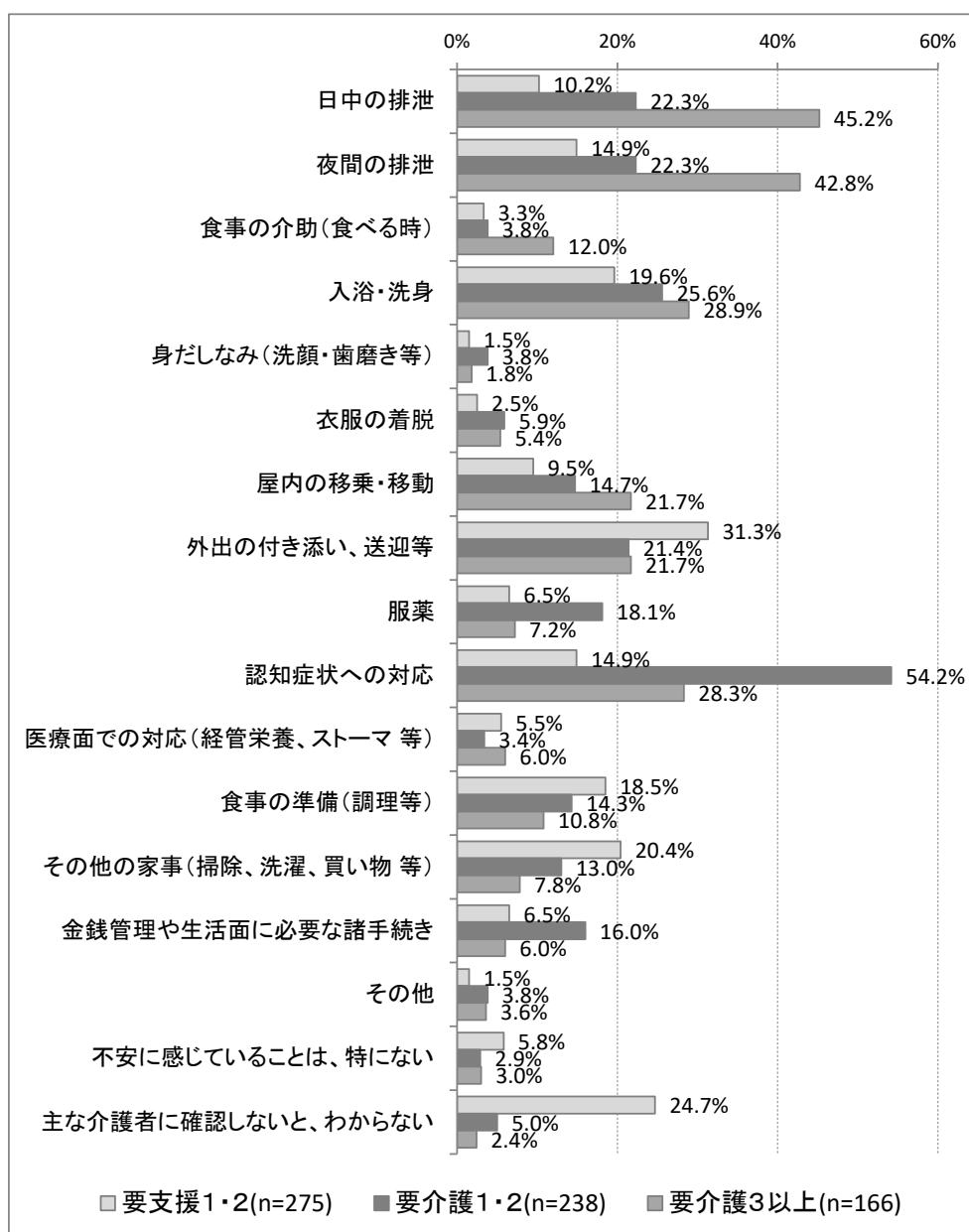
### ③ 介護者が不安に感じる介護

Q 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

#### ● 要介護度別

- 介護者が不安に感じる介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が最も多く31.3%、次いで「主な介護者に確認しないと、わからない」が24.7%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が20.4%となっています。「要介護1・2」では「認知症状への対応」が最も多く54.2%、次いで「入浴・洗身」が25.6%、「日中の排泄」、「夜間の排泄」が22.3%となっています。「要介護3以上」では「日中の排泄」が最も多く45.2%、次いで「夜間の排泄」が42.8%、「入浴・洗身」が28.9%となっています。

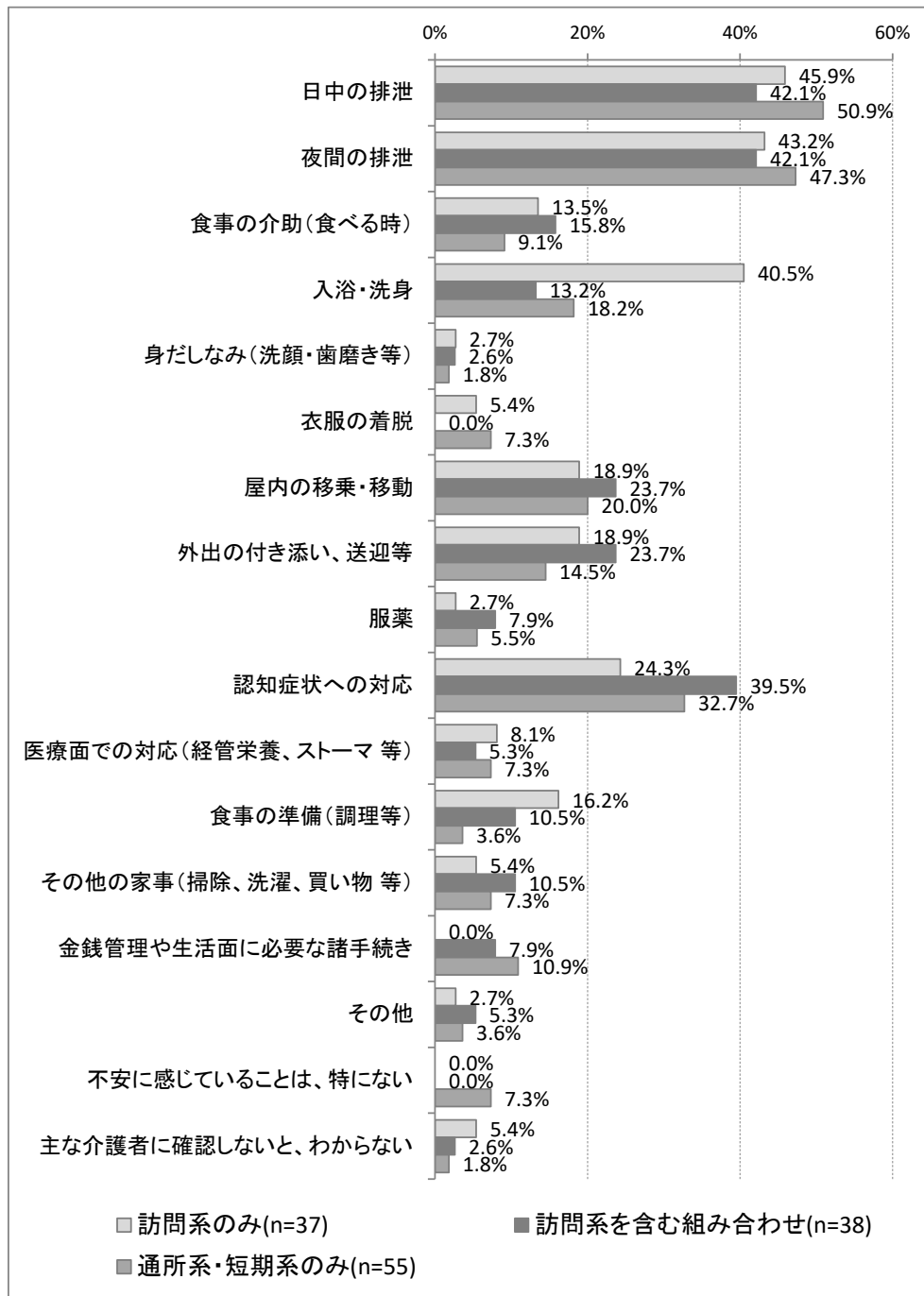
【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】



● 要介護3以上（サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護）

- 介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「日中の排泄」が最も多く45.9%、次いで「夜間の排泄」が43.2%、「入浴・洗身」が40.5%となっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が最も多くそれぞれ42.1%、次いで「認知症状への対応」が39.5%、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」が23.7%となっています。「通所系・短期系のみ」では「日中の排泄」が最も多く50.9%、次いで「夜間の排泄」が47.3%、「認知症状への対応」が32.7%となっています。

【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）】



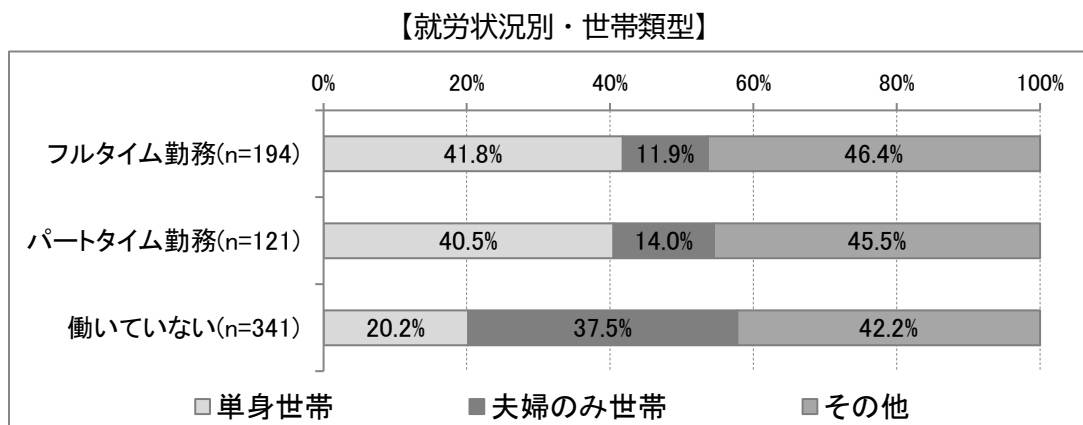
## (2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

### ① 就労状況別 介護者・要介護者の属性

#### ● 世帯類型

Q 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

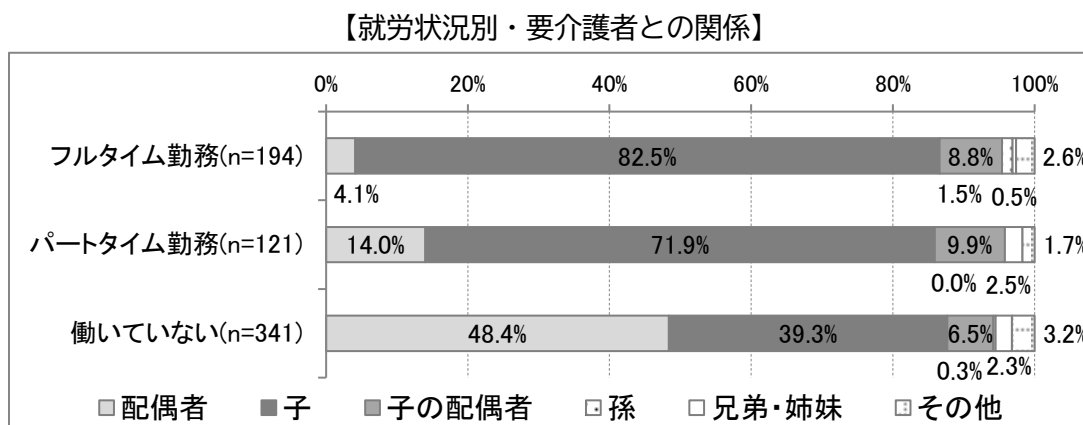
- ・ 世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他」が最も多く46.4%、次いで「単身世帯」が41.8%、「夫婦のみ世帯」が11.9%となっています。「パートタイム勤務」では「その他」が最も多く45.5%、次いで「単身世帯」が40.5%、「夫婦のみ世帯」が14.0%となっています。「働いていない」では「その他」が最も多く42.2%、次いで「夫婦のみ世帯」が37.5%、「単身世帯」が20.2%となっています。



#### ● 要介護者との関係

Q 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

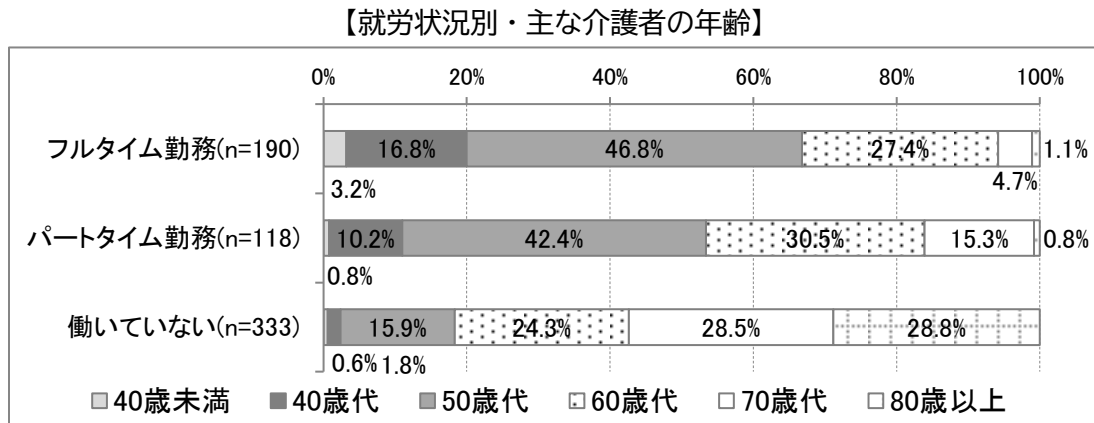
- ・ 主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「子」が最も多く82.5%、次いで「子の配偶者」が8.8%、「配偶者」が4.1%となっています。「パートタイム勤務」では「子」が最も多く71.9%、次いで「配偶者」が14.0%、「子の配偶者」が9.9%となっています。「働いていない」では「配偶者」が最も多く48.4%、次いで「子」が39.3%、「子の配偶者」が6.5%となっています。



● 主な介護者の年齢

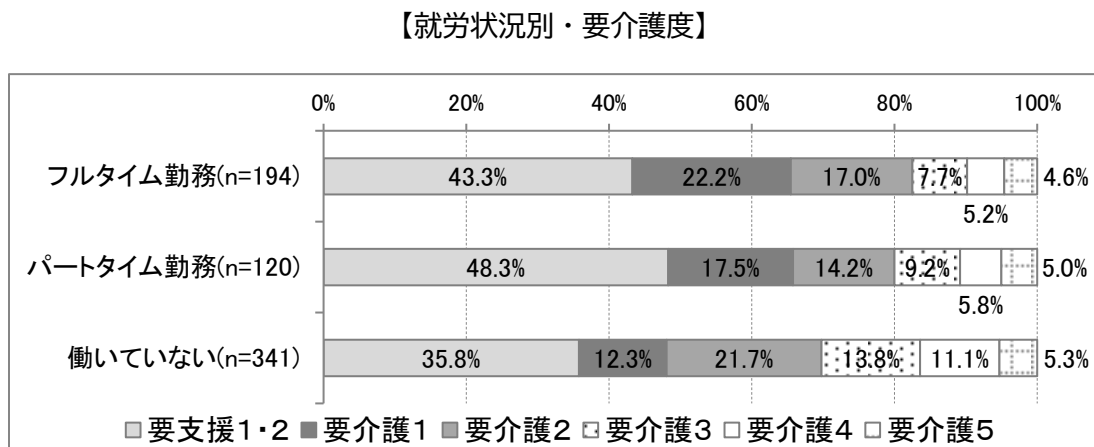
Q 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- 介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「50歳代」が最も多く46.8%、次いで「60歳代」が27.4%、「40歳代」が16.8%となっています。「パートタイム勤務」では「50歳代」が最も多く42.4%、次いで「60歳代」が30.5%、「70歳代」が15.3%となっています。「働いていない」では「80歳以上」が最も多く28.8%、次いで「70歳代」が28.5%、「60歳代」が24.3%となっています。



● 要介護者の要介護度

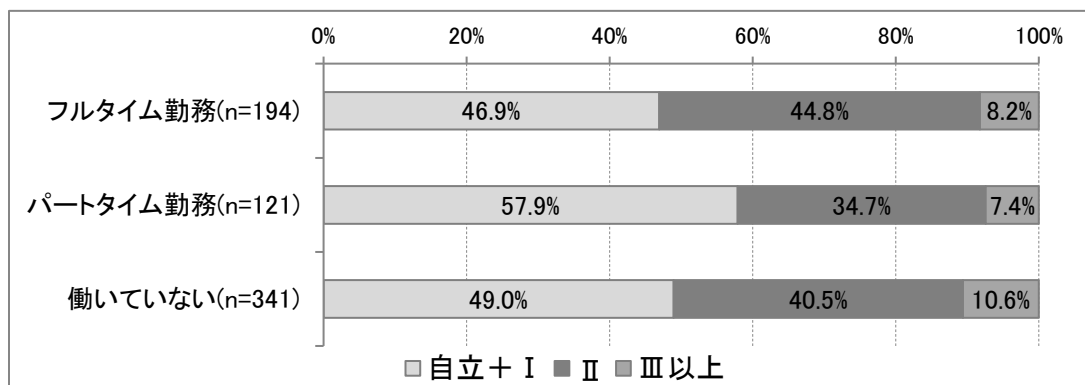
- 二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「要支援1・2」が最も多く43.3%、次いで「要介護1」が22.2%、「要介護2」が17.0%となっています。「パートタイム勤務」では「要支援1・2」が最も多く48.3%、次いで「要介護1」が17.5%、「要介護2」が14.2%となっています。「働いていない」では「要支援1・2」が最も多く35.8%、次いで「要介護2」が21.7%、「要介護3」が13.8%となっています。



● 要介護者の認知症自立度

- ・ 認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「自立+Ⅰ」が最も多く46.9%、次いで「Ⅱ」が44.8%、「Ⅲ以上」が8.2%となっています。「パートタイム勤務」では「自立+Ⅰ」が最も多く57.9%、次いで「Ⅱ」が34.7%、「Ⅲ以上」が7.4%となっています。「働いていない」では「自立+Ⅰ」が最も多く49.0%、次いで「Ⅱ」が40.5%、「Ⅲ以上」が10.6%となっています。

【就労状況別・認知症自立度】



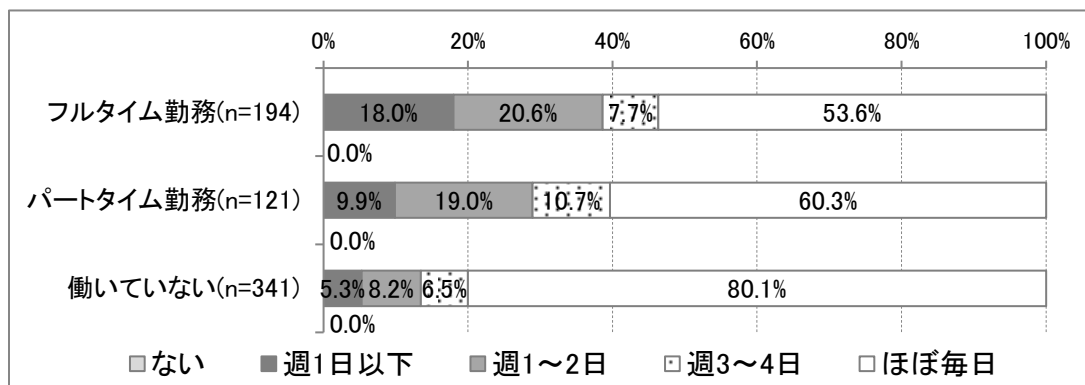
② 就労状況別 介護者が行っている介護

● 家族等による介護の頻度

Q ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

- ・ ご家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が最も多く53.6%、次いで「週1~2日」が20.6%、「週1日以下」が18.0%となっています。「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が最も多く60.3%、次いで「週1~2日」が19.0%、「週3~4日」が10.7%となっています。「働いていない」では「ほぼ毎日」が最も多く80.1%、次いで「週1~2日」が8.2%、「週3~4日」が6.5%となっています。

【就労状況別・家族等による介護の頻度】

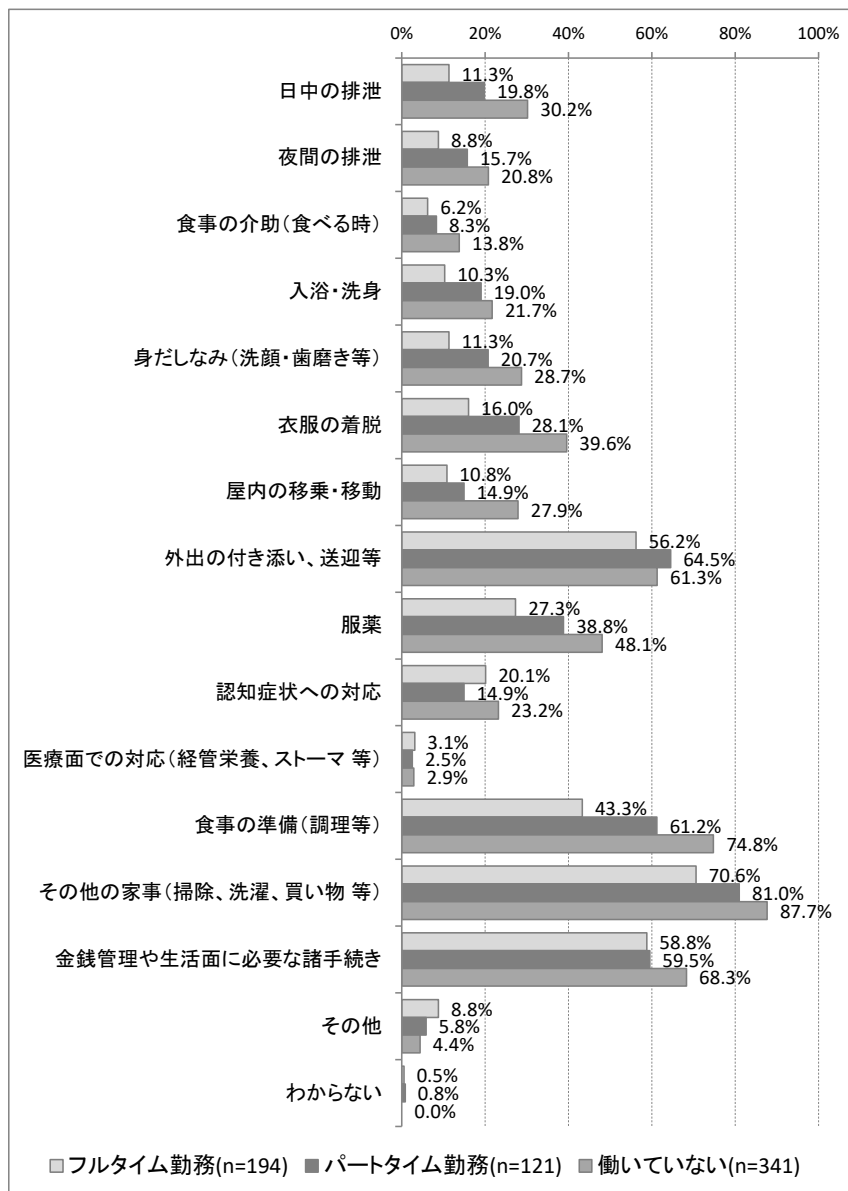


● 主な介護者が行っている介護

Q 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（あてはまるもの全て）

- ・ 介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も多く70.6%、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が58.8%、「外出の付き添い、送迎等」が56.2%となっています。「パートタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も多く81.0%、次いで「外出の付き添い、送迎等」が64.5%、「食事の準備（調理等）」が61.2%となっています。「働いていない」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も多く87.7%、次いで「食事の準備（調理等）」が74.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が68.3%となっています。
- ・ 勤務形態に関わらず「食事の準備」、「その他の家事」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「外出の付き添い、送迎等」など自分の時間を調整しやすいものは主な介護者が介護を行っている割合が多くなっています。

【就労状況別・主な介護者が行っている介護】



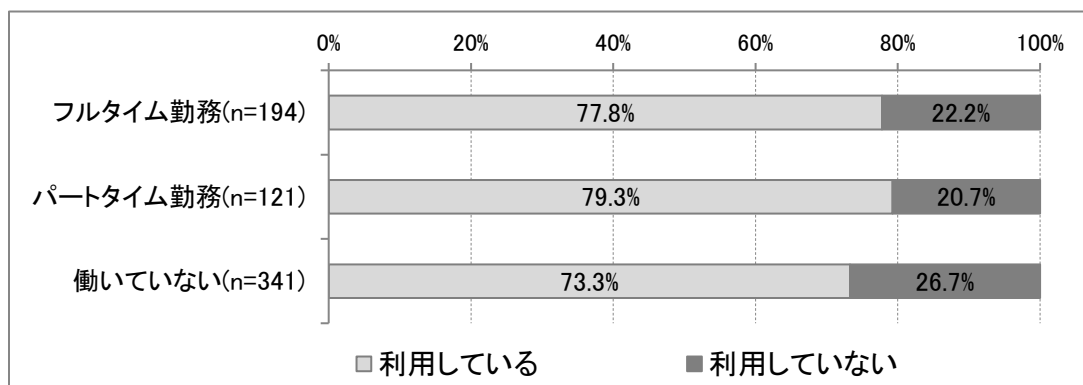
### ③ 介護保険サービスの利用

Q 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

#### ● 就労状況別

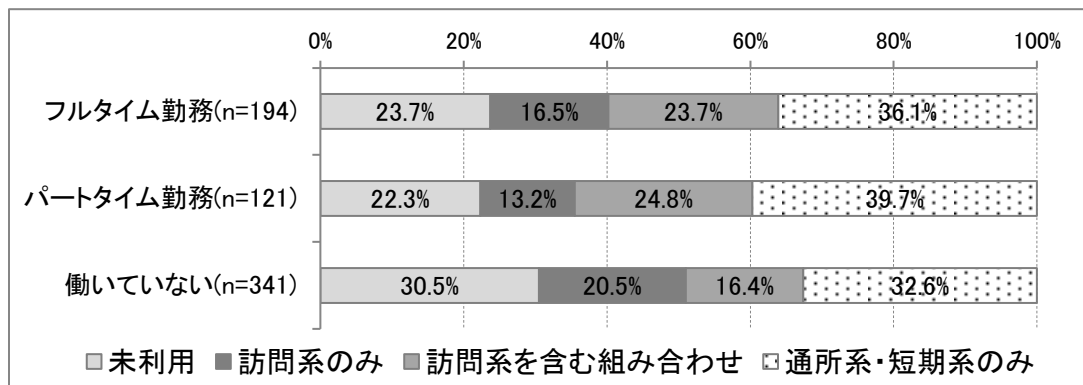
- 介護保険サービスの利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用している」が最も多く77.8%、次いで「利用していない」が22.2%となっています。「パートタイム勤務」では「利用している」が最も多く79.3%、次いで「利用していない」が20.7%となっています。「働いていない」では「利用している」が最も多く73.3%、次いで「利用していない」が26.7%となっています。就労状況と介護保険サービスの利用状況に有意な差はみられません。

【就労状況別・介護保険サービス利用の有無】



- 介護保険サービスの利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が最も多く36.1%、次いで「未利用」「訪問系を含む組み合わせ」がそれぞれ23.7%などとなっています。「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が最も多く39.7%、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が24.8%、「未利用」が22.3%などとなっています。「働いていない」では「通所系・短期系のみ」が最も多く32.6%、次いで「未利用」が30.5%、「訪問系のみ」が20.5%となっています。

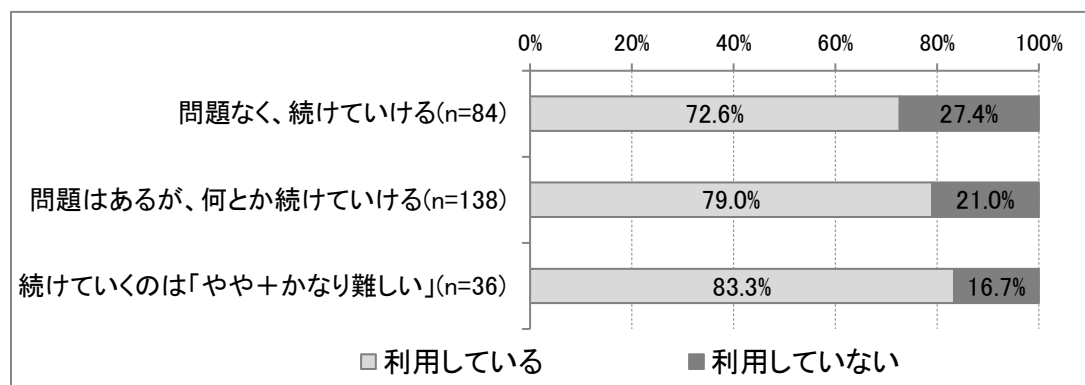
【就労状況別・介護保険サービス利用の組み合わせ】



## ● 就労継続見込み別

- 介護保険サービスの利用の有無を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「利用している」が72.6%、「利用していない」が27.4%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「利用している」が79.0%、「利用していない」が21.0%となっています。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「利用している」が83.3%、「利用していない」が16.7%となっています。

【就労継続見込み別・介護保険サービス利用の有無】

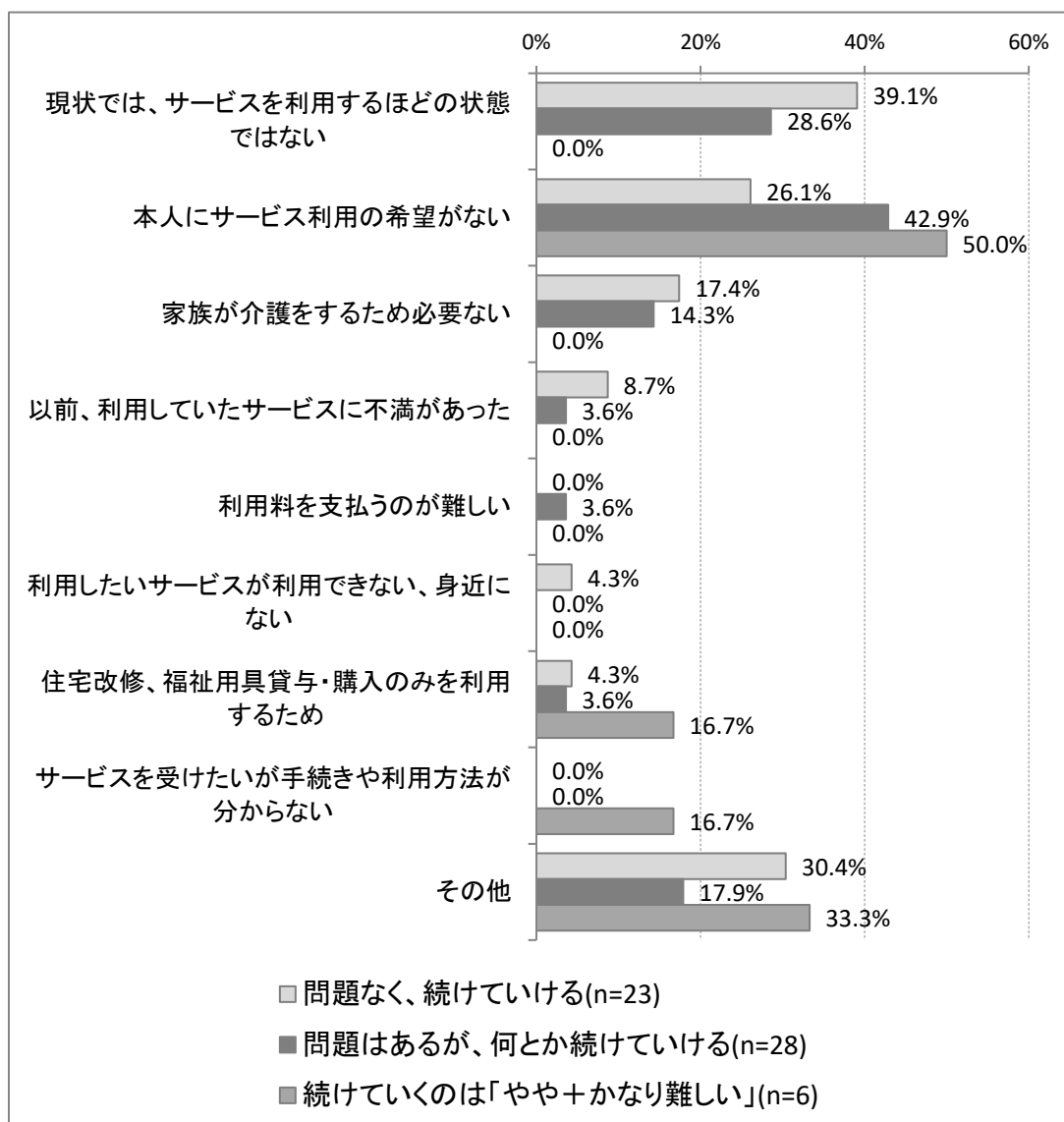




Q 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

- ・未利用の理由を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も多く39.1%、次いで「その他」が30.4%、「本人にサービス利用の希望がない」が26.1%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「本人にサービス利用の希望がない」が最も多く42.9%、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が28.6%、「その他」が17.9%となっています。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「本人にサービス利用の希望がない」が最も多く50.0%、次いで「その他」が33.3%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が16.7%となっています。

【就労継続見込み別・介護保険サービスを利用していない理由】



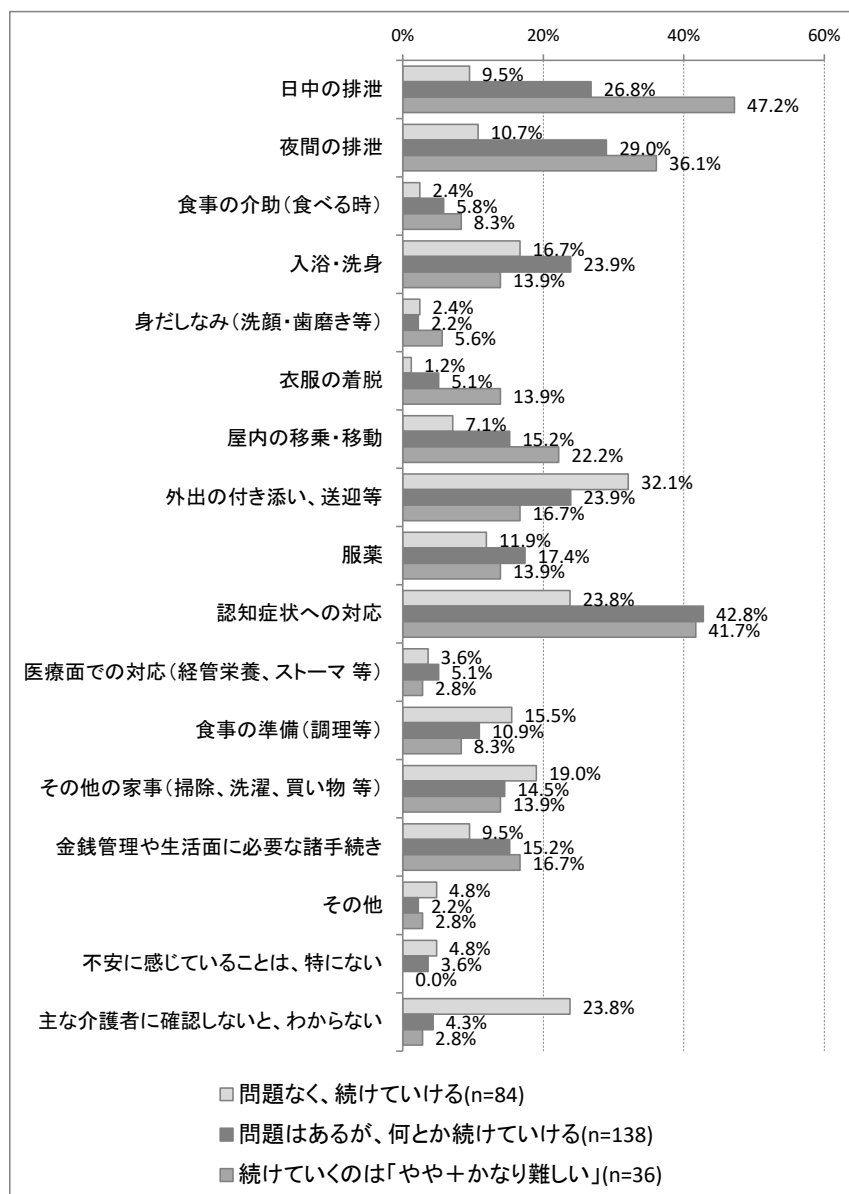
#### ④ 介護者が不安に感じる介護

Q 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

##### ● 就労継続見込み別

- ・ 介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「外出の付き添い、送迎等」が最も多く 32.1%、次いで「認知症状への対応」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 23.8%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 19.0% となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「認知症状への対応」が最も多く 42.8%、次いで「夜間の排泄」が 29.0%、「日中の排泄」が 26.8% となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「日中の排泄」が最も多く 47.2%、次いで「認知症状への対応」が 41.7%、「夜間の排泄」が 36.1% となっています。
- ・ 就労継続が困難になるにつれ、「日中の排泄」、「夜間の排泄」に対する不安が高くなる傾向が見られます。

【就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】



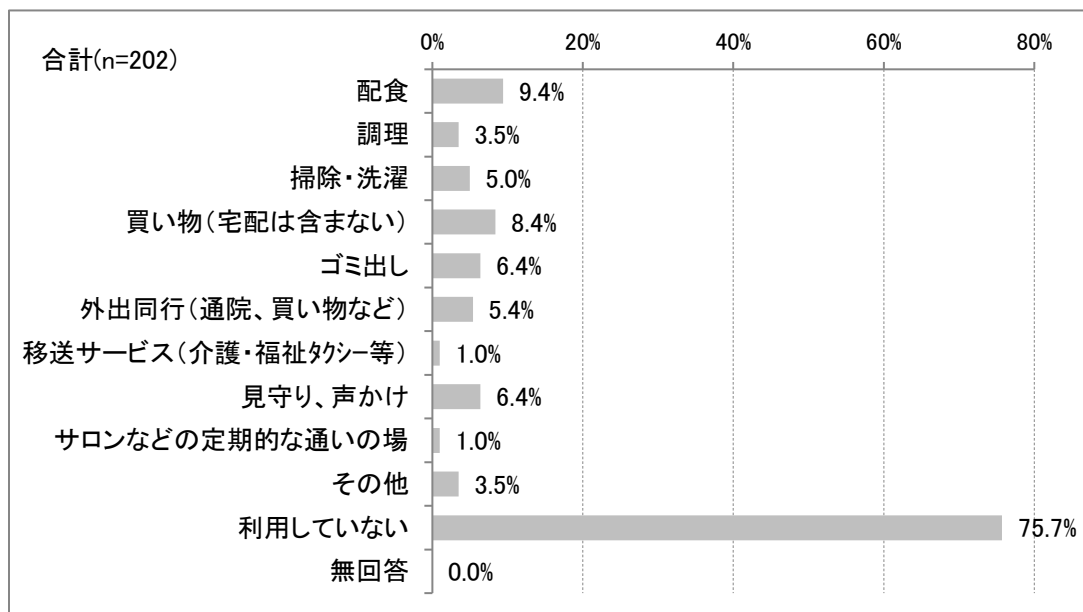
## ⑤ 保険外の支援・サービスの利用

Q 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（全て）

### ● 保険外の支援・サービスの利用状況と必要性（フルタイム勤務）

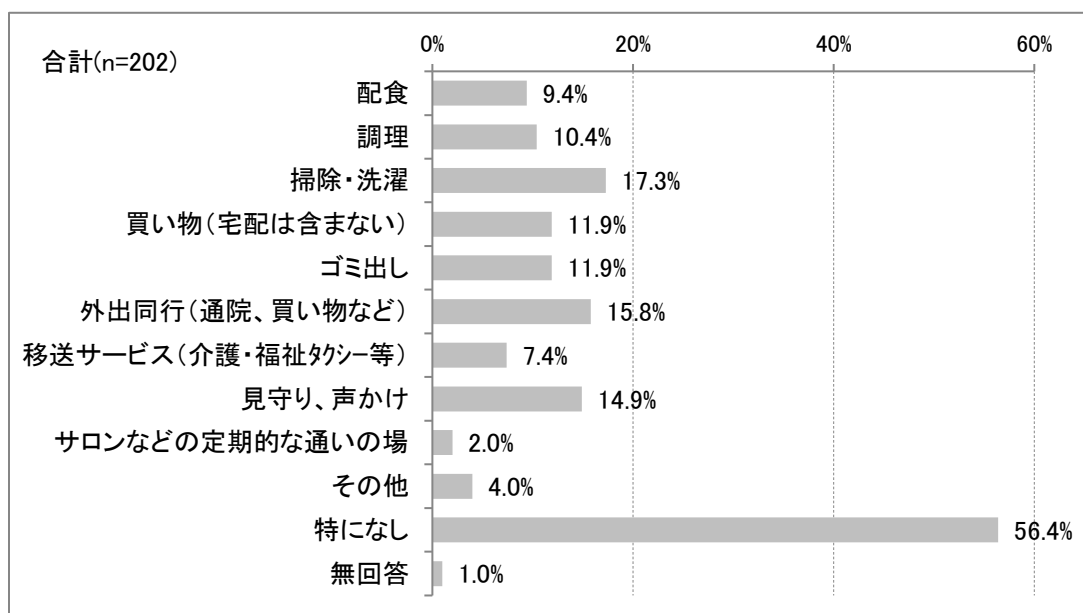
- ・ 「利用していない」が最も多く75.7%、次いで「配食が」9.4%、「買い物（宅配は含まない）」が8.4%などとなっています。

【利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）】



- ・ 「特になし」が最も多く56.4%、次いで「掃除・洗濯」が17.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が15.8%などとなっています。

【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）】



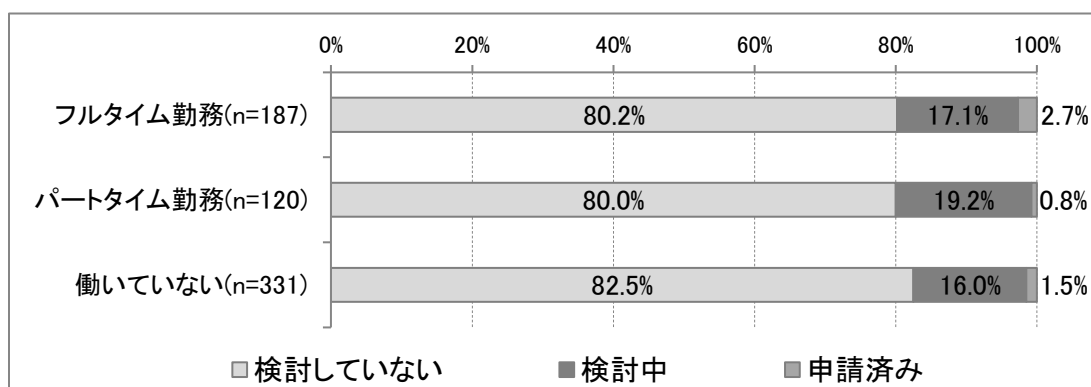
## ⑥ 施設等検討の状況

Q 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

### ● 就労状況別

- 施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が80.2%、「検討中」が17.1%、「申請済み」が2.7%となっています。「パートタイム勤務」では「検討していない」が80.0%、「検討中」が19.2%、「申請済み」が0.8%となっています。「働いていない」では「検討していない」が82.5%、「検討中」が16.0%、「申請済み」が1.5%となっています。就労状況別の施設等検討の状況に有意な差はみられません。

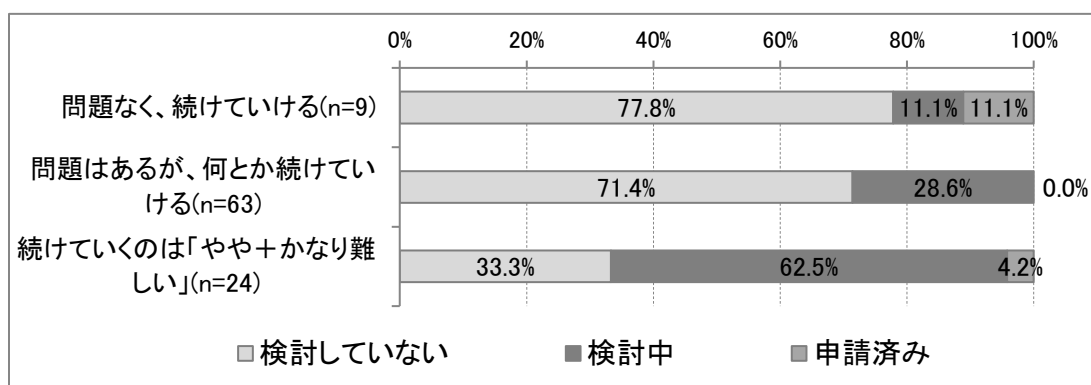
【就労状況別・施設等検討の状況】



### ● 就労継続見込み別

- 施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が77.8%、「検討中」、「申請済み」がそれぞれ11.1%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が71.4%、「検討中」が28.6%、「申請済み」が0.0%となっています。「続けていくのは「やや+かなり難しい」では「検討中」が62.5%、「検討していない」が33.3%、「申請済み」が4.2%となっています。就労継続が難しいと感じている介護者において、施設等の検討が多くなっています。

【就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）】



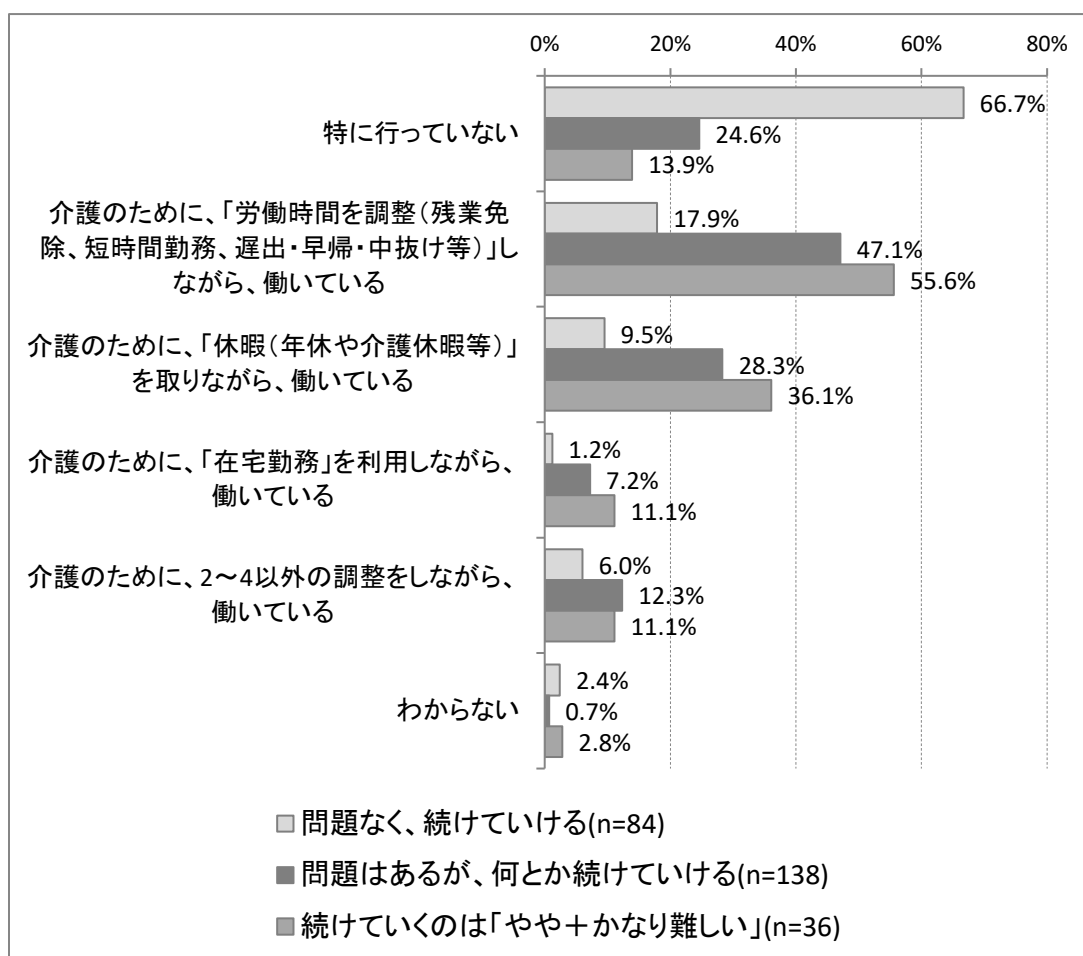
## ⑦ 働き方の調整と勤め先から必要な支援

Q 「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（あてはまるもの全て）

### ● 就労継続見込み別 介護のための働き方の調整

- 介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が最も多く66.7%、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が17.9%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が9.5%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が最も多く47.1%、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が28.3%、「特に行っていない」が24.6%となっています。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が最も多く55.6%、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が36.1%、「特に行っていない」が13.9%となっています。

### 【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務）】

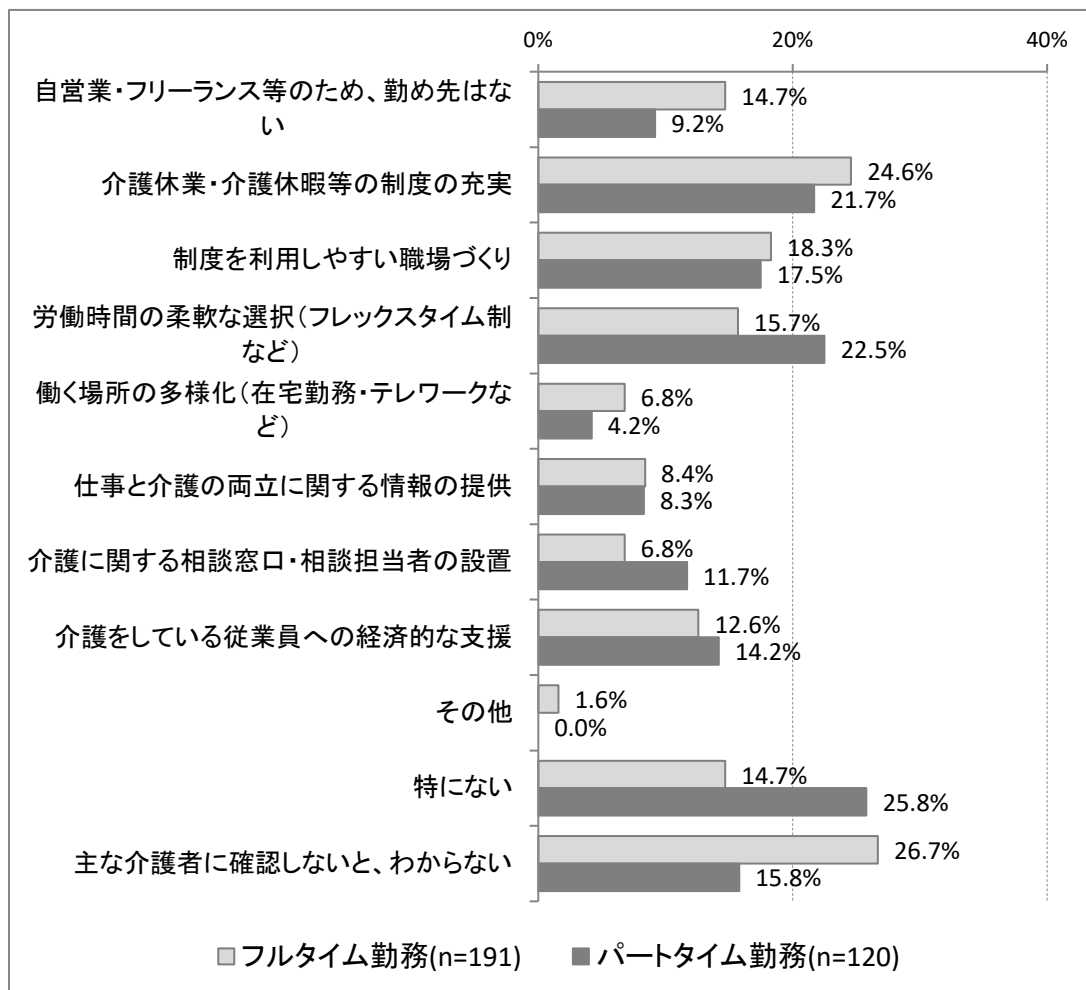


● 就労継続見込み別 効果的な勤め先からの支援

Q 「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- 効果的な勤め先からの支援を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「主な介護者に確認しないと、わからない」が最も多く26.7%、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が24.6%、「制度を利用しやすい職場づくり」が18.3%となっています。「パートタイム勤務」では「特にない」が最も多く25.8%、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が22.5%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が21.7%となっています。

【就労継続見込み別・効果的な勤め先からの支援(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】



### (3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

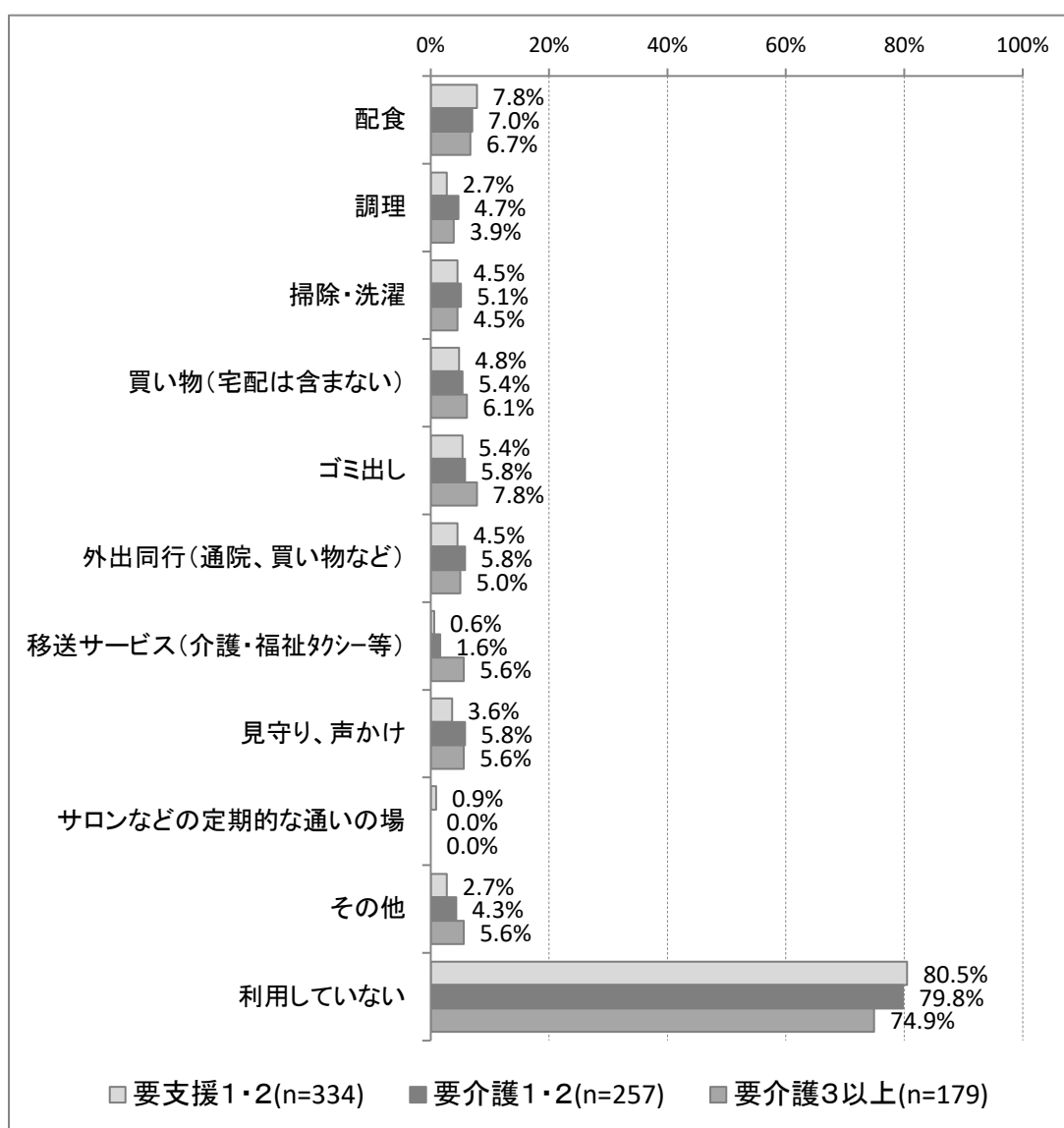
#### ① 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

Q 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（全て）

#### ● 要介護度・世帯類型別 保険外の支援・サービスの利用状況

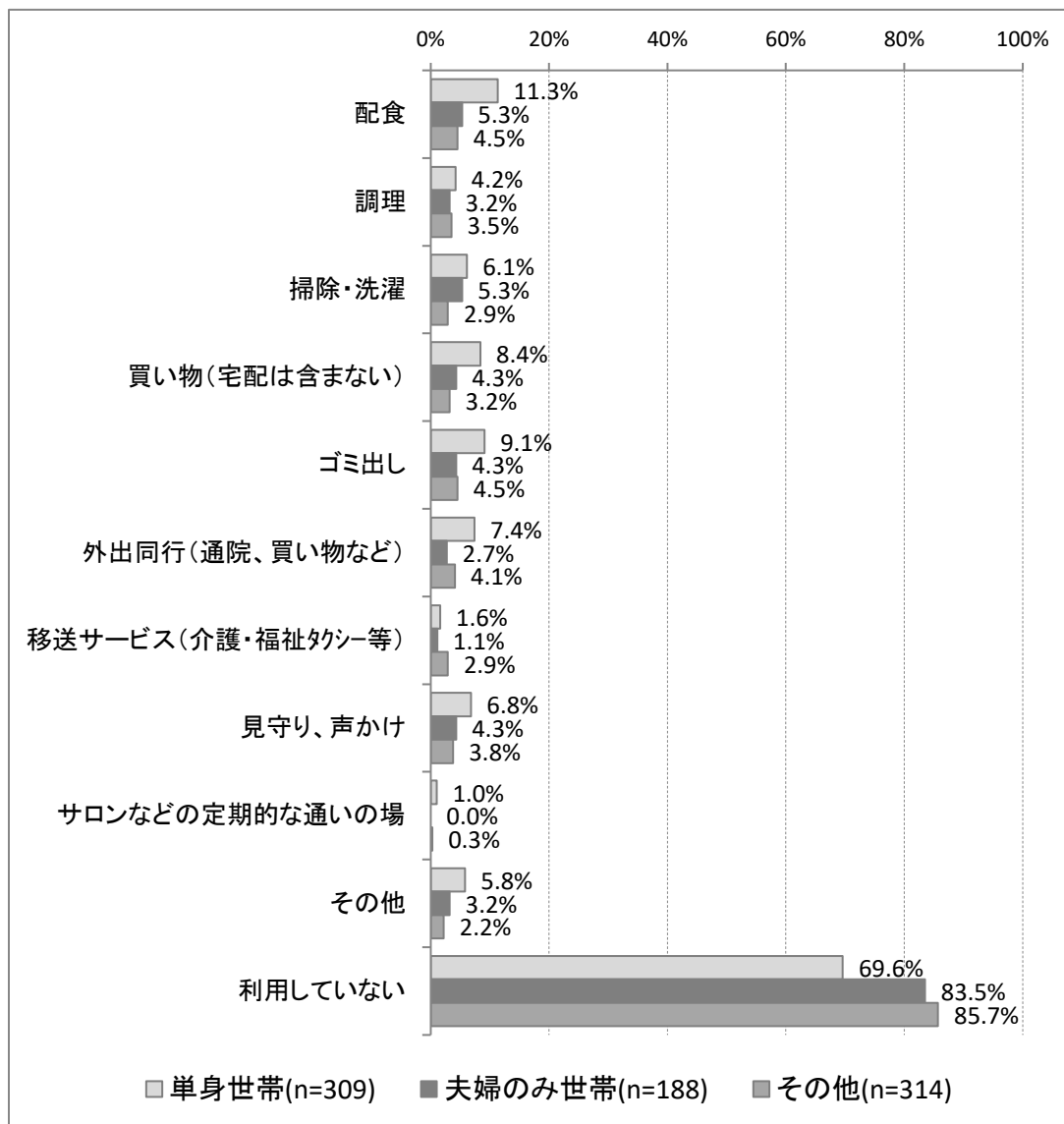
- ・ 保険外の支援・サービスの利用状況を要介護度別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が最も多く80.5%、次いで「配食」が7.8%、「ゴミ出し」が5.4%などとなっています。「要介護1・2」では「利用していない」が最も多く79.8%、次いで「配食」が7.0%、「ゴミ出し」「外出同行（通院、買い物など）」「見守り、声かけ」がそれぞれ5.8%などとなっています。「要介護3以上」では「利用していない」が最も多く74.9%、次いで「ゴミ出し」が7.8%、「配食」が6.7%などとなっています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況】



- ・ 保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が最も多く69.6%、次いで「配食」が11.3%、「ゴミ出し」が9.1%などとなっています。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が最も多く83.5%、次いで「配食」「掃除・洗濯」がそれぞれ5.3%などとなっています。「その他世帯」では「利用していない」が最も多く85.7%、次いで「配食」「ゴミ出し」がそれぞれ4.5%などとなっています。

【世帯類型別・保険外の支援・サービスの利用状況】



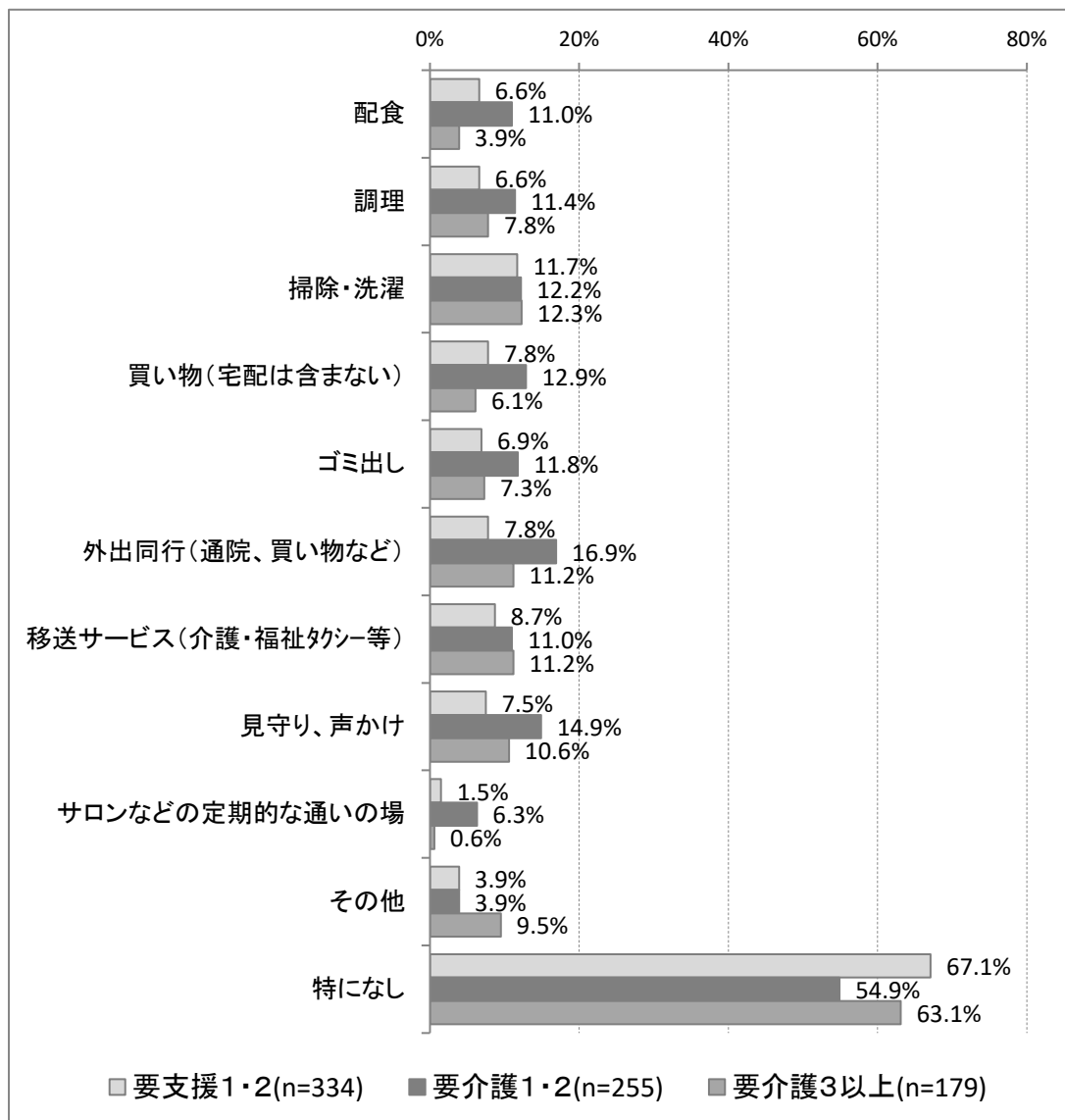


● 要介護度・世帯類型別・保険外の支援・サービスの必要性

Q 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（あてはまるもの全て）

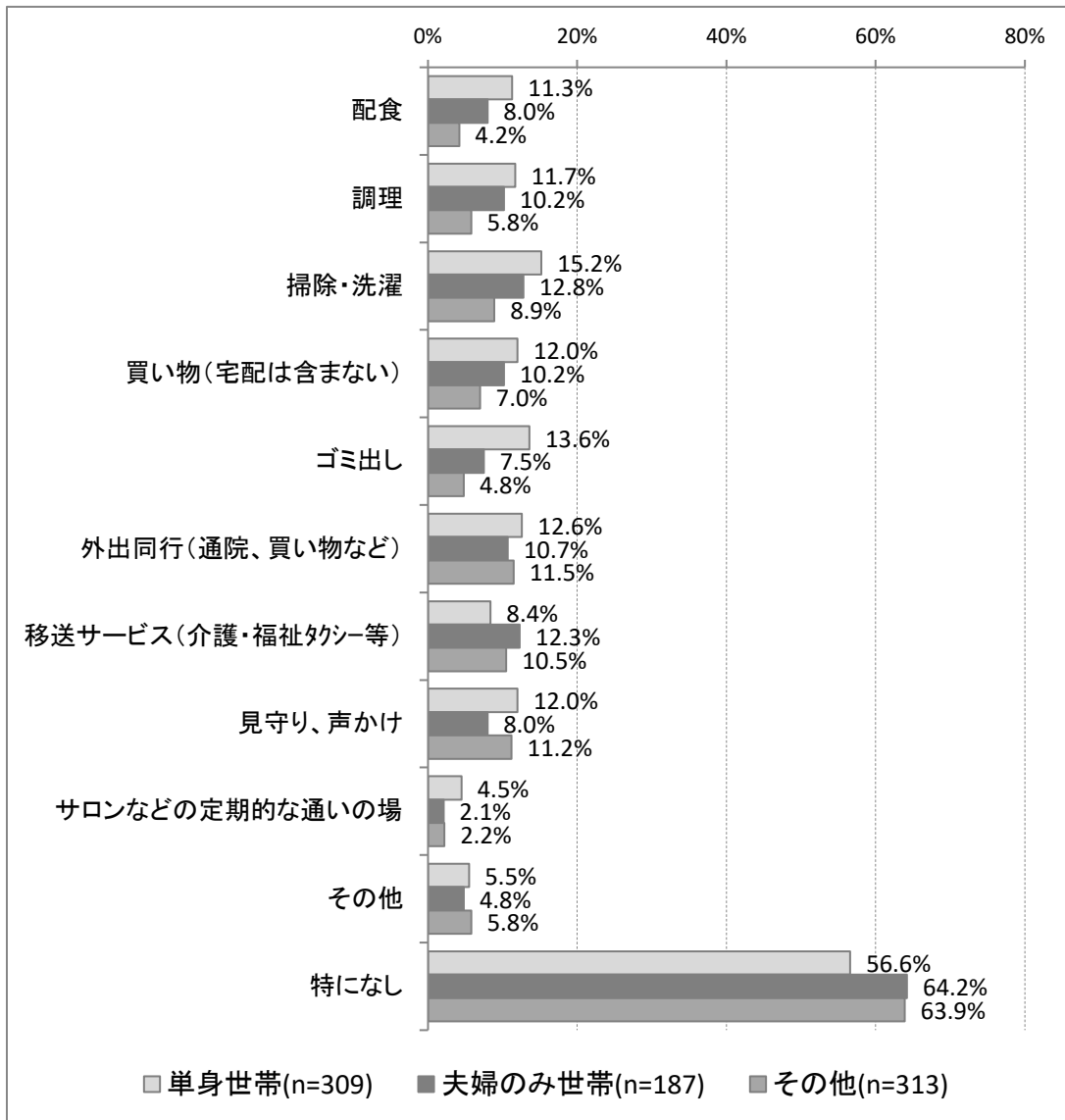
- ・ 保険外の支援・サービスの必要性を要介護度別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が最も多く67.1%、次いで「掃除・洗濯」が11.7%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が8.7%などとなっています。「要介護1・2」では「特になし」が最も多く54.9%、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が16.9%、「見守り、声かけ」が14.9%などとなっています。「その他」では「特になし」が最も多く63.1%、次いで「掃除・洗濯」が12.3%、「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がそれぞれ11.2%などとなっています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの必要性】



- ・ 保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「特になし」が最も多く56.6%、次いで「掃除・洗濯」が15.2%、「ゴミ出し」が13.6%などとなっています。「夫婦のみ世帯」では「特になし」が最も多く64.2%、次いで「掃除・洗濯」が12.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が12.3%などとなっています。「その他」では「特になし」が最も多く63.9%、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が11.5%、「見守り、声かけ」が11.2%などとなっています。

【世帯類型別・保険外の支援・サービスの必要性】



#### (4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

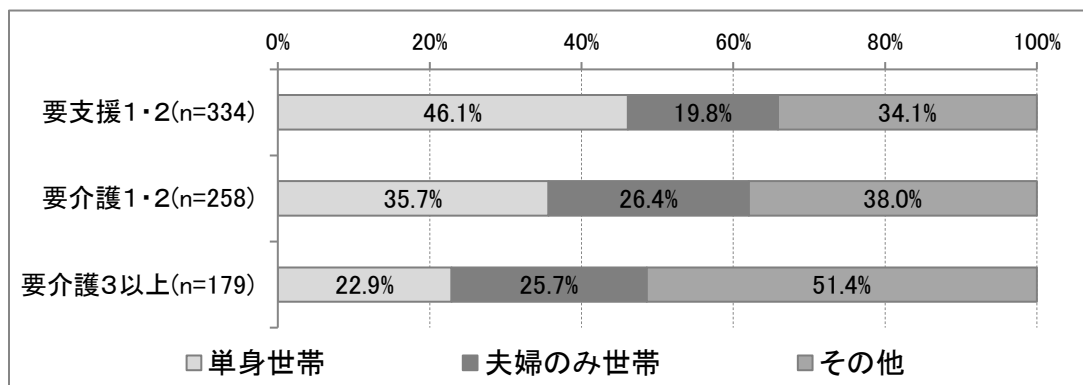
##### ① 世帯類型

Q 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

##### ● 要介護度別

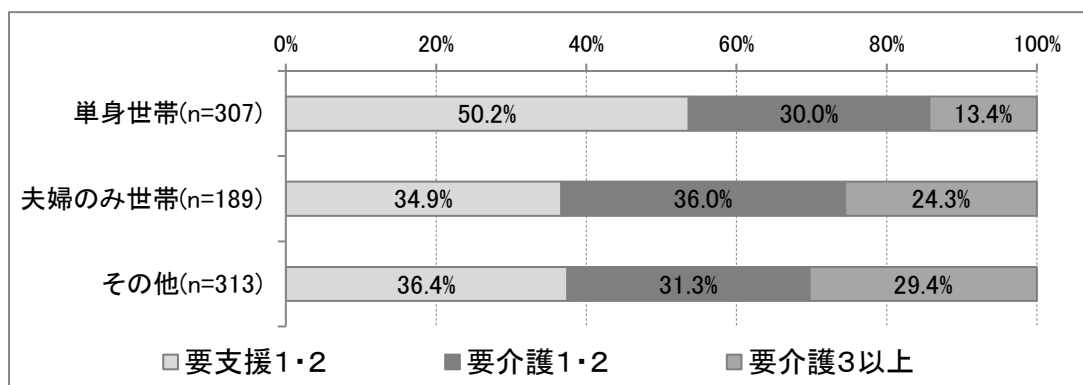
- ・ 世帯類型を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「単身世帯」が46.1%、次いで「その他」が34.1%、「夫婦のみ世帯」が19.8%となっています。「要介護1・2」では「その他」が38.0%、次いで「単身世帯」が35.7%、「夫婦のみ世帯」が26.4%となっています。「要介護3以上」では「その他」が51.4%、次いで「夫婦のみ世帯」が25.7%、「単身世帯」が22.9%となっています。
- ・ 要介護度が上がるにつれ、「単身世帯」が減少しています。

【要介護度別・世帯類型】



- ・ 二次判定結果を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「要支援1・2」が50.2%、次いで「要介護1・2」が30.0%、「要介護3以上」が13.4%となっています。「夫婦のみ世帯」では「要介護1・2」が36.0%、次いで「要支援1・2」が34.9%、「要介護3以上」が24.3%となっています。「その他」では「要支援1・2」が36.4%、次いで「要介護1・2」が31.3%、「要介護3以上」が29.4%となっています。

【世帯類型別・要介護度】

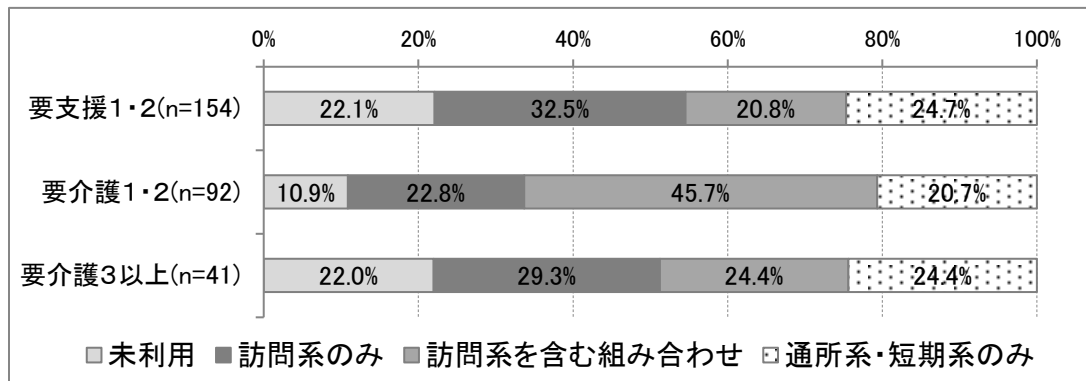


## ② サービス利用の組み合わせ

### ● 要介護度・世帯類型別

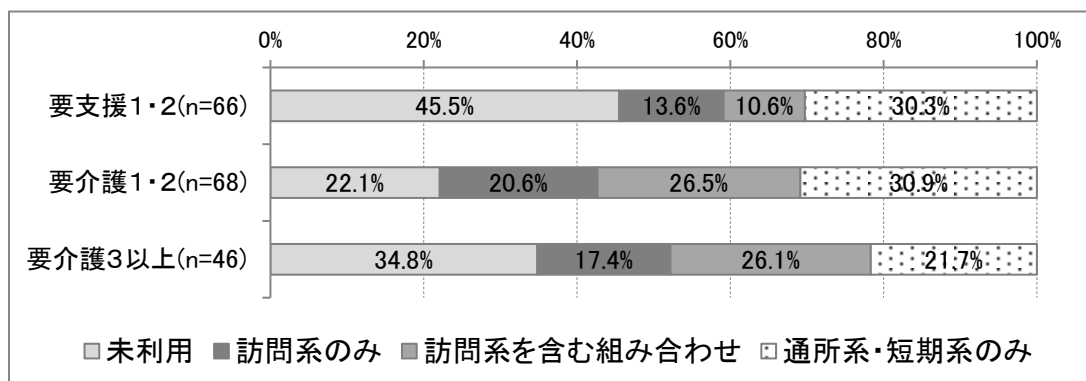
- ・ 単身世帯のサービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「訪問系のみ」が最も多く32.5%、次いで「通所系・短期系のみ」が24.7%、「未利用」が22.1%となっています。「要介護1・2」では「訪問系を含む組み合わせ」が最も多く45.7%、次いで「訪問系のみ」が22.8%、「通所系・短期系のみ」が20.7%となっています。「要介護3以上」では「訪問系のみ」が最も多く29.3%、次いで「訪問系を含む組み合わせ」、「通所系・短期系のみ」が24.4%、「未利用」が22.0%となっています。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】



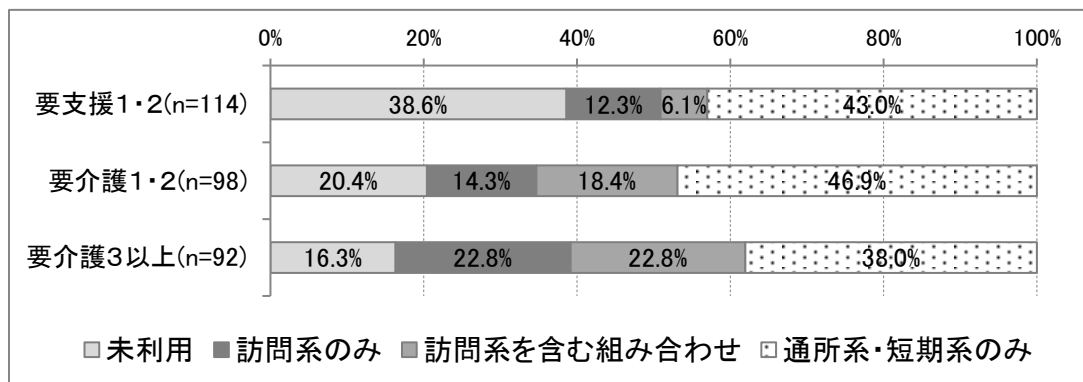
- ・ 夫婦のみ世帯のサービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が最も多く45.5%、次いで「通所系・短期系のみ」が30.3%、「訪問系のみ」が13.6%となっています。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が最も多く30.9%、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が26.5%、「未利用」が22.1%となっています。「要介護3以上」では「未利用」が最も多く34.8%、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が26.1%、「通所系・短期系のみ」が21.7%となっています。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】



- ・ その他世帯のサービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系・短期系のみ」が最も多く43.0%、次いで「未利用」が38.6%、「訪問系のみ」が12.3%となっています。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が最も多く46.9%、次いで「未利用」が20.4%、「訪問系を含む組み合わせ」が18.4%となっています。「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が最も多く38.0%、次いで「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が22.8%、「未利用」が16.3%となっています。
- ・ 「その他世帯」では、「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」と比べ、通所系・短期系のみを利用する割合が高くなっています。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】



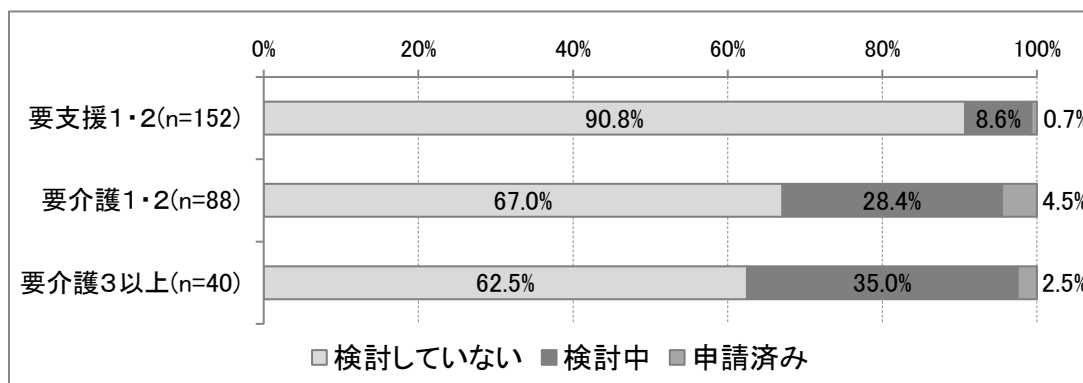
### ③ 施設等検討の状況

Q 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

#### ● 要介護度・世帯類型別

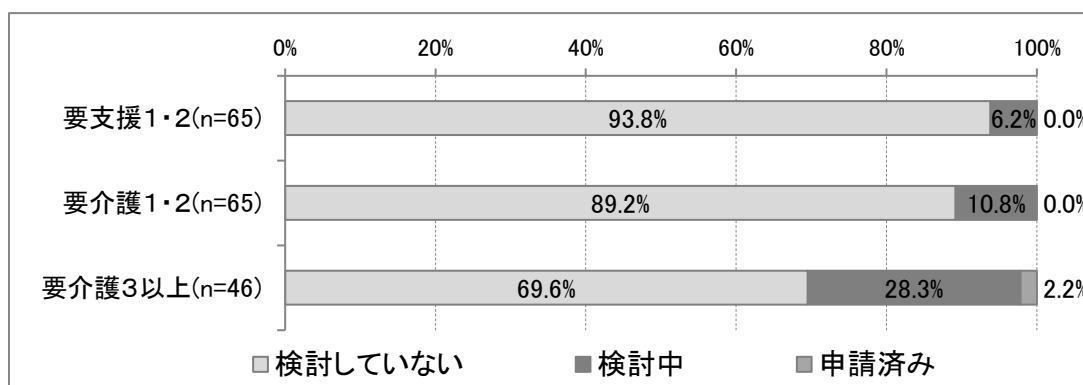
- ・ 単身世帯の施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が90.8%、「検討中」が8.6%、「申請済み」が0.7%となっています。「要介護1・2」では「検討していない」が67.0%、「検討中」が28.4%、「申請済み」が4.5%となっています。「要介護3以上」では「検討していない」が62.5%、「検討中」が35.0%、「申請済み」が2.5%となっています。

【要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）】



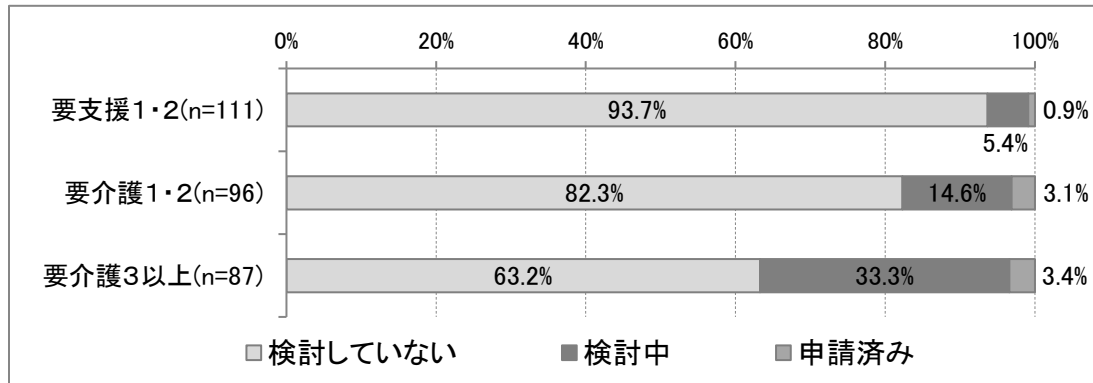
- ・ 夫婦のみ世帯の施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が93.8%、「検討中」が6.2%となっています。「要介護1・2」では「検討していない」が89.2%、「検討中」が10.8%となっています。「要介護3以上」では「検討していない」が69.6%、「検討中」が28.3%、「申請済み」が2.2%となっています。

【要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】



- ・ その他世帯の施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が93.7%、「検討中」が5.4%、「申請済み」が0.9%となっています。「要介護1・2」では「検討していない」が82.3%、「検討中」が14.6%、「申請済み」が3.1%となっています。「要介護3以上」では「検討していない」が63.2%、「検討中」が33.3%、「申請済み」が3.4%となっています。

【要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）】



## (5) リハビリ系サービスの検討

### ① 前回認定と今回認定の改善悪化状況

#### ● 要介護度別

- リハビリ系サービス利用者※についてみると、今回認定が要介護1以下では前回認定より「改善」「維持」が5割を超えていますが、要介護2以上になると悪化が過半数を超えています。

※リハビリ系サービス利用者…（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）短期入所療養介護のいずれか1種以上を利用している人について集計した。

【前回認定と今回認定の改善悪化状況（リハビリ系サービス利用者のみ）】

		前回							合計(人)
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
今回	要支援1	14	5	0	1	0	0	0	20
	要支援2	19	21	0	2	0	0	0	42
	要介護1	4	2	7	1	1	0	0	15
	要介護2	5	10	5	6	7	0	1	34
	要介護3	0	3	4	4	5	3	1	20
	要介護4	1	3	3	5	2	4	2	20
	要介護5	0	0	0	2	4	1	0	7
	合計		43	44	19	21	19	8	4

■悪化 ■現状維持 ■改善

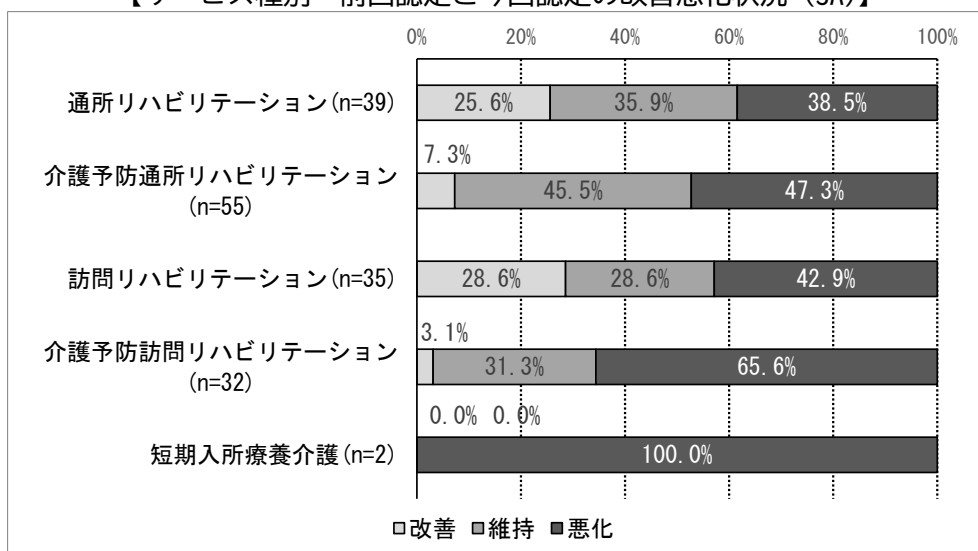
		前回							合計(人)	前回⇒今回		
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		改善	維持	悪化
今回	要支援1	70.0	25.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	20	30.0	70.0	0.0
	要支援2	45.2	50.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	42	4.8	50.0	45.2
	要介護1	26.7	13.3	46.7	6.7	6.7	0.0	0.0	15	13.3	46.7	40.0
	要介護2	14.7	29.4	14.7	17.6	20.6	0.0	2.9	34	23.5	17.6	58.8
	要介護3	0.0	15.0	20.0	20.0	25.0	15.0	5.0	20	20.0	25.0	55.0
	要介護4	5.0	15.0	15.0	25.0	10.0	20.0	10.0	20	10.0	20.0	70.0
	要介護5	0.0	0.0	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0	7	0.0	0.0	100.0
	合計		43	44	19	21	19	8	4	158	24	57

■悪化 ■現状維持 ■改善

#### ● サービス種別

- 通所・介護予防通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションでは「改善」または「維持」の割合が5割を超えています。

【サービス種別・前回認定と今回認定の改善悪化状況（SA）】



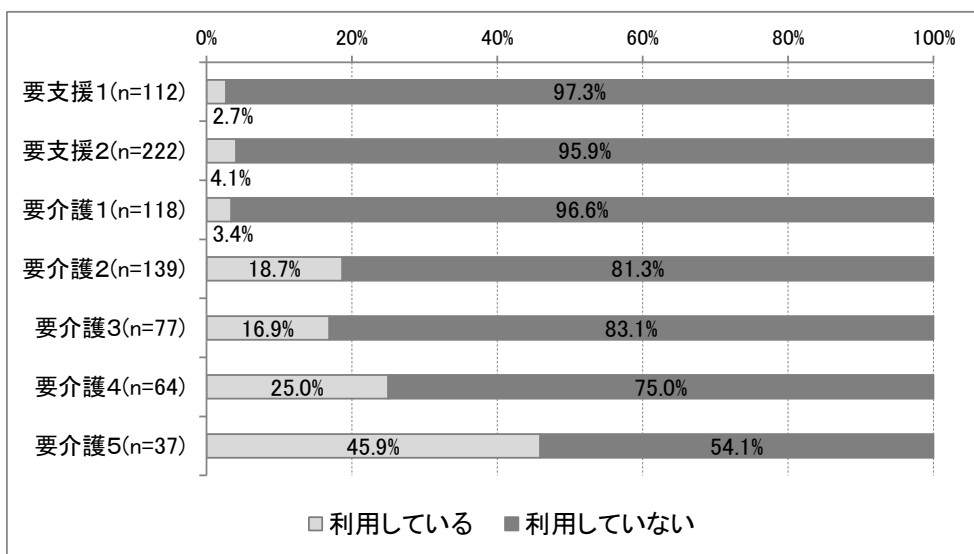


## (6) 医療ニーズの高い在宅療養者を支えるサービス等の提供体制

### ① 訪問診療の利用割合

- ・ 訪問診療の利用の有無を二次判定結果別にみると、「利用している」割合は、「要支援1」が2.7%、「要支援2」が4.1%、「要介護1」が3.4%となっています。「要介護2」が18.7%、「要介護3」が16.9%、「要介護4」が25.0%、「要介護5」が45.9%となっています。
- ・ 要介護度が重度化するにつれて訪問診療を「利用している」割合が多くなる傾向がみられます。

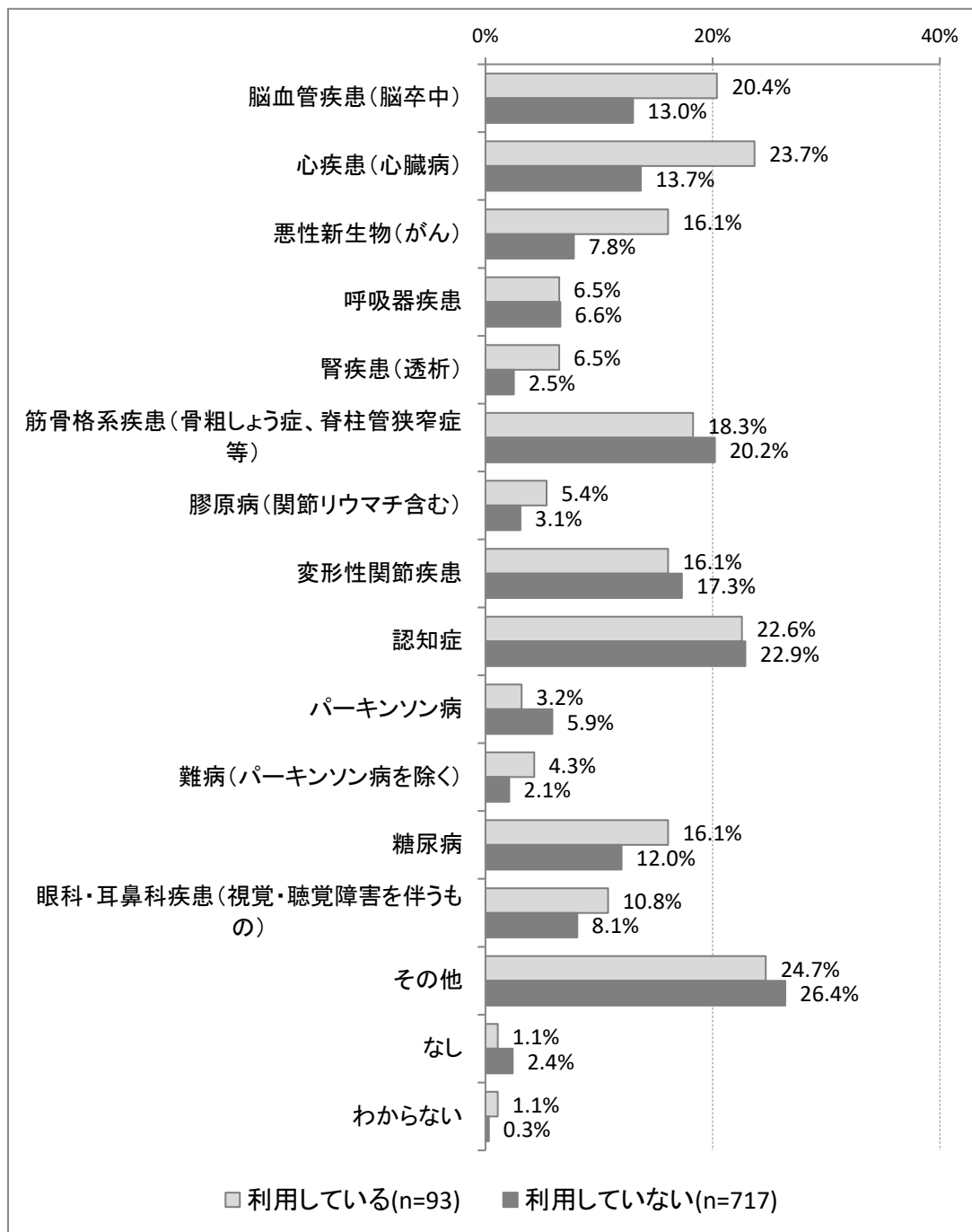
【要介護度別・訪問診療の利用割合】



## ② 抱えている傷病

- 抱えている傷病を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「心疾患（心臓病）」が最も多く23.7%、次いで「認知症」が22.6%、「脳血管疾患（脳卒中）」が20.4%などとなっています。「利用していない」では「認知症」が最も多く22.9%、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が20.2%、「変形性関節疾患」が17.3%などとなっています。

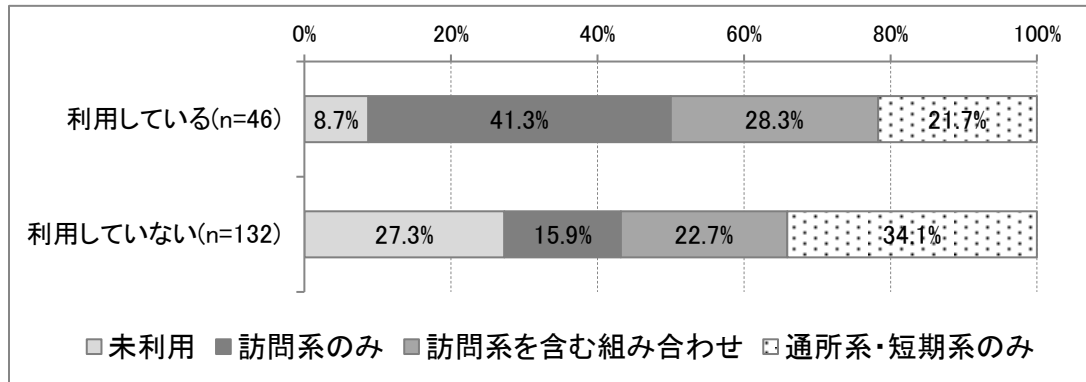
【訪問診療の利用の有無別・抱えている傷病】



### ③ サービス利用の組み合わせ

- 要介護3以上のサービス利用の組み合わせを訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系のみ」が最も多く41.3%、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が28.3%、「通所系・短期系のみ」が21.7%などとなっています。「利用していない」では「通所系・短期系のみ」が最も多く34.1%、次いで「未利用」が27.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が22.7%などとなっています。

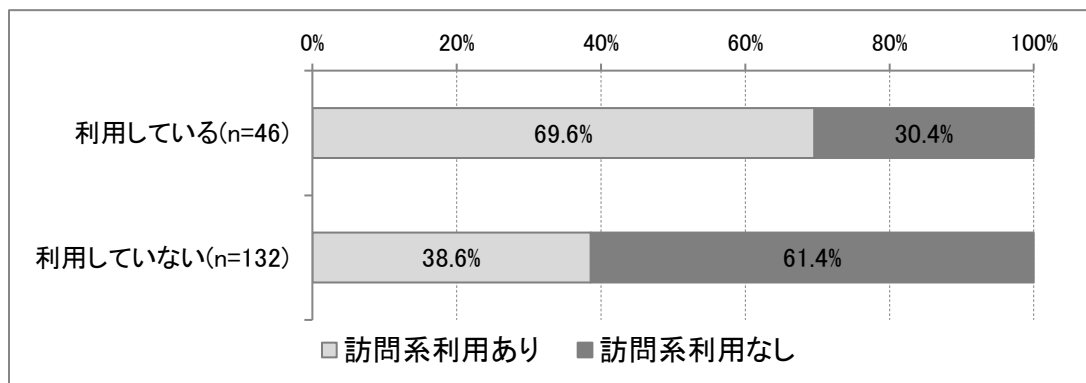
【訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）】



### ④ 訪問系の利用の有無

- 要介護3以上で訪問系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系利用あり」が69.6%、「訪問系利用なし」が30.4%となっています。「利用していない」では「訪問系利用あり」が38.6%、「訪問系利用なし」が61.4%となっています。

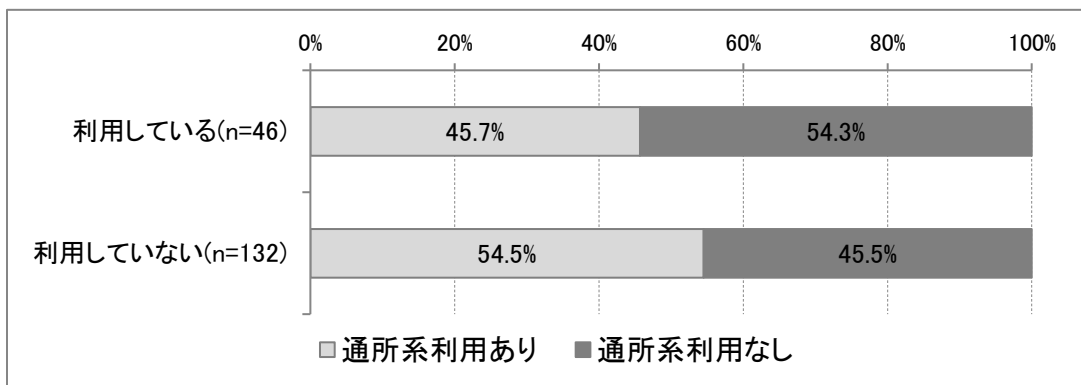
【訪問診療の利用の有無別・訪問系の利用の有無（訪問系、要介護3以上）】



### ⑤ 通所系の利用の有無

- ・ 要介護3以上で通所系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「通所系利用あり」が45.7%、「通所系利用なし」が54.3%となっています。「利用していない」では「通所系利用あり」が54.5%、「通所系利用なし」が45.5%となっています。

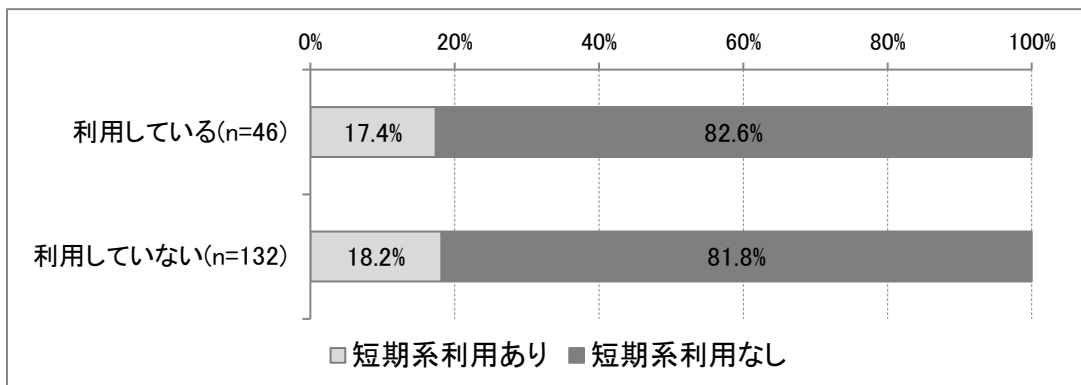
【訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）】



### ⑥ 短期系の利用の有無

- ・ 要介護3以上で短期系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「短期系利用あり」が17.4%、「短期系利用なし」が82.6%となっています。「利用していない」では「短期系利用あり」が18.2%、「短期系利用なし」が81.8%となっています。

【訪問診療の利用の有無別・短期系の利用の有無（短期系、要介護3以上）】



## 6. 調査結果のまとめ

### (1) 在宅生活の限界点向上について

- ・ 要介護3以上で概ね3割の人が施設への入所・入居を検討しています。【P.19】
- ・ 介護者が不安を感じる介護についてみると、要介護度が中程度では認知症への対応、服薬、金銭管理等の諸手続き、重度になると排泄介助となっています。重度の要介護者を介護する介護者も高齢となっており、これらの介護にかかる不安の軽減が、在宅限界点の向上を図るためのポイントと考えられます。【P.21】

### (2) 仕事と介護の両立について

- ・ 仕事と介護を両立している介護者は約5割おり、要介護者本人の子どもで50～60歳代が多くなっています。また、要介護者が単身世帯、要支援1・2の場合に多くなっています。【P.23-24】
- ・ 要介護度が上がるにつれ、介護の頻度は増えており、介護の内容は家事全般（掃除、洗濯、買い物等）、金銭管理、外出の付き添い、送迎等が中心となっています。【P.25-26】
- ・ 就労継続が困難と感じている介護者ほど、日中・夜間の排泄への対応に不安を感じており、要介護者と在宅生活と介護者の就労継続について、可否を判断するポイントとなる可能性があります。【P.30】
- ・ 介護を理由として、主な介護者や主な介護者以外の方が仕事を辞めたケースは5%以下であり、90%以上が介護を理由とした離職はしていません。しかし、介護を理由として何かしら仕事の調整をしている場合が約70%、問題はあるが何とか続けていられると過半数が感じています。就労継続が困難と感じている介護者ほど仕事と介護の調整に取り組んでいます。仕事と介護の両立のハードルを下げるさらなる支援が求められます。【P.10-11, 33】

### (3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

- ・ 保険外の支援・サービスについて、世帯類型、要介護度に関わらず全体的にニーズは低くなっています。在宅生活の継続に向けては保険外の支援・サービスなどの整備と活用促進がポイントと考えられます。【P.35-38】

### (4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

- ・ 介護保険サービス利用の組み合わせを世帯類型別かつ要介護度別にみると、単身世帯では訪問系サービスの利用者が多く、夫婦のみ世帯、その他世帯では、通所系・短期系サービスの利用者が多くなっています。【P.39-41】
- ・ 配偶者等の介護者のレスパイトケアの必要性が高いことから、訪問系のみではなく、そうした機能を持つ通所系・短期系も組み合わせられた利用が多くなっていると考えられます。【P.40-41】

## (5) リハビリ系サービスの検討

- ・ 要介護度に着目すると、リハビリ系サービス利用者のうち、要介護1以下では前回認定と今回認定の改善悪化の状況をみると、維持または改善が過半数を超えており、要介護度の重度化防止に一定の効果が推察されます。要介護2～4では悪化した割合が各要介護度で過半数を超えており、要介護1以下ほど成果が表れていません。軽度の要介護度の段階で、早期からリハビリ系サービスを含む重度化防止に取り組むことが重要だと考えられます。【P.44】

## (6) 医療ニーズの高い在宅療養者を支えるサービス等の提供体制

- ・ 訪問診療の利用割合を要介護度別にみると、要介護度が高いほど訪問診療の利用が多くなっています。
- ・ 訪問診療の利用者が抱えている傷病は、「心疾患（心臓病）」「認知症」「脳管疾患（脳卒中）」が多く、「悪性新生物（がん）」での利用者も多くなっています。これらの疾病に対する在宅医療体制を充実させることが重要です。【P.45-46】